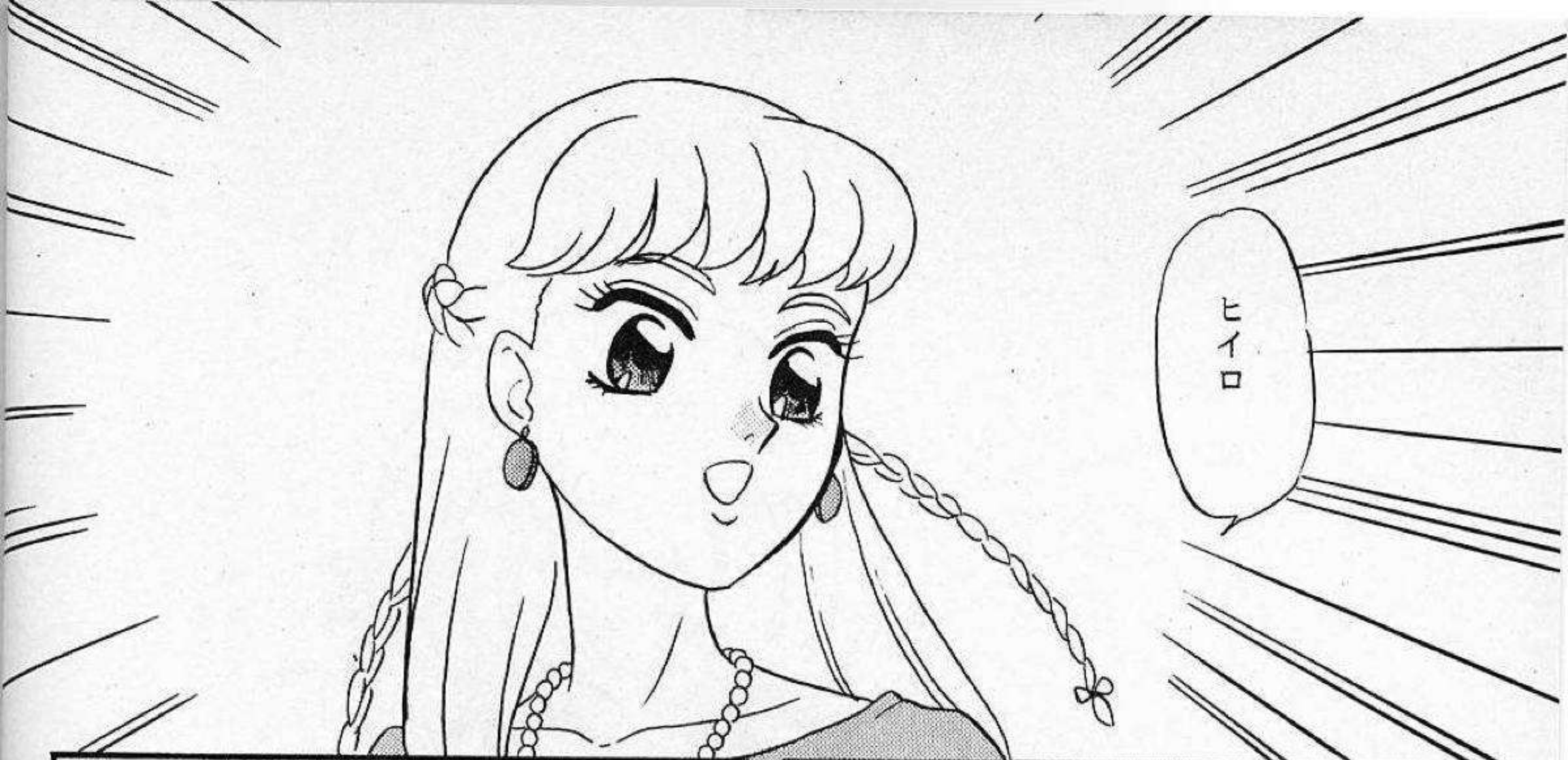


—LUNCH BOX・14—
GUNDAM WING
&
天地無用

らんち
たいむ3



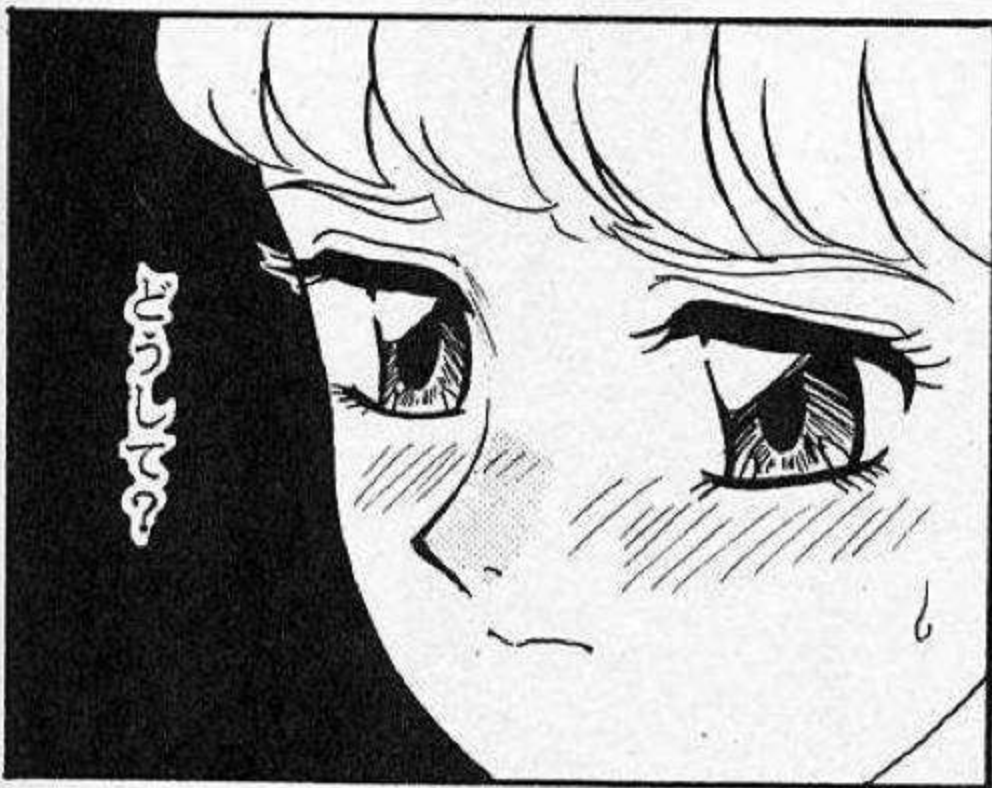
ヒイロ



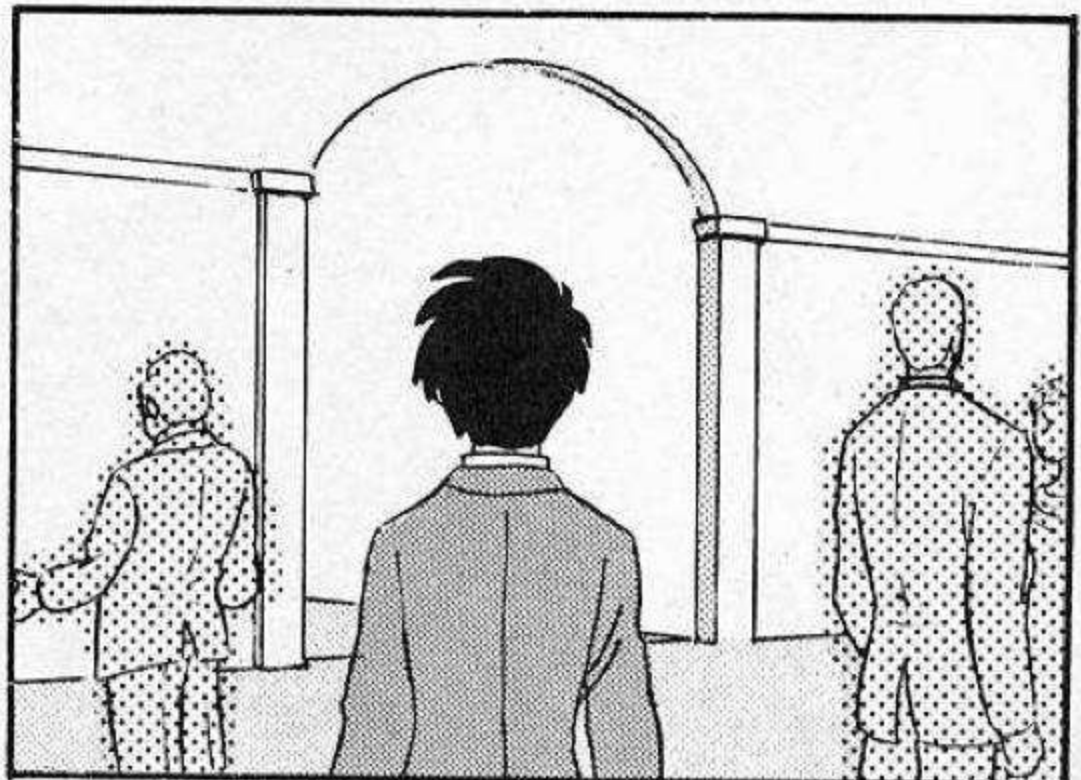
アッ

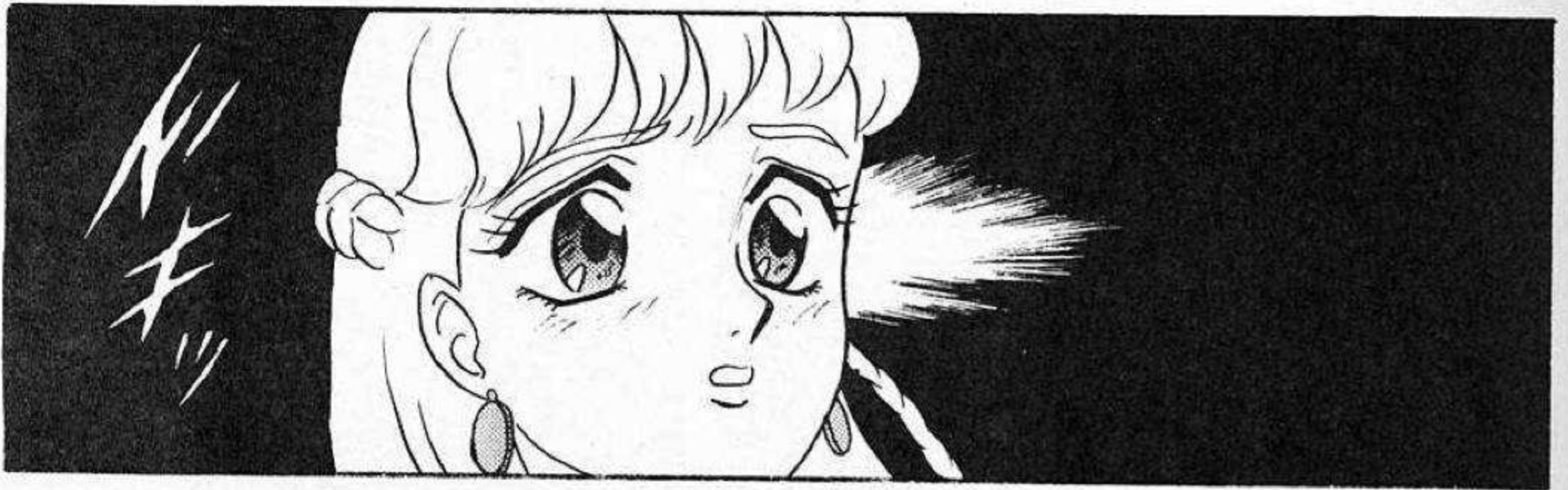
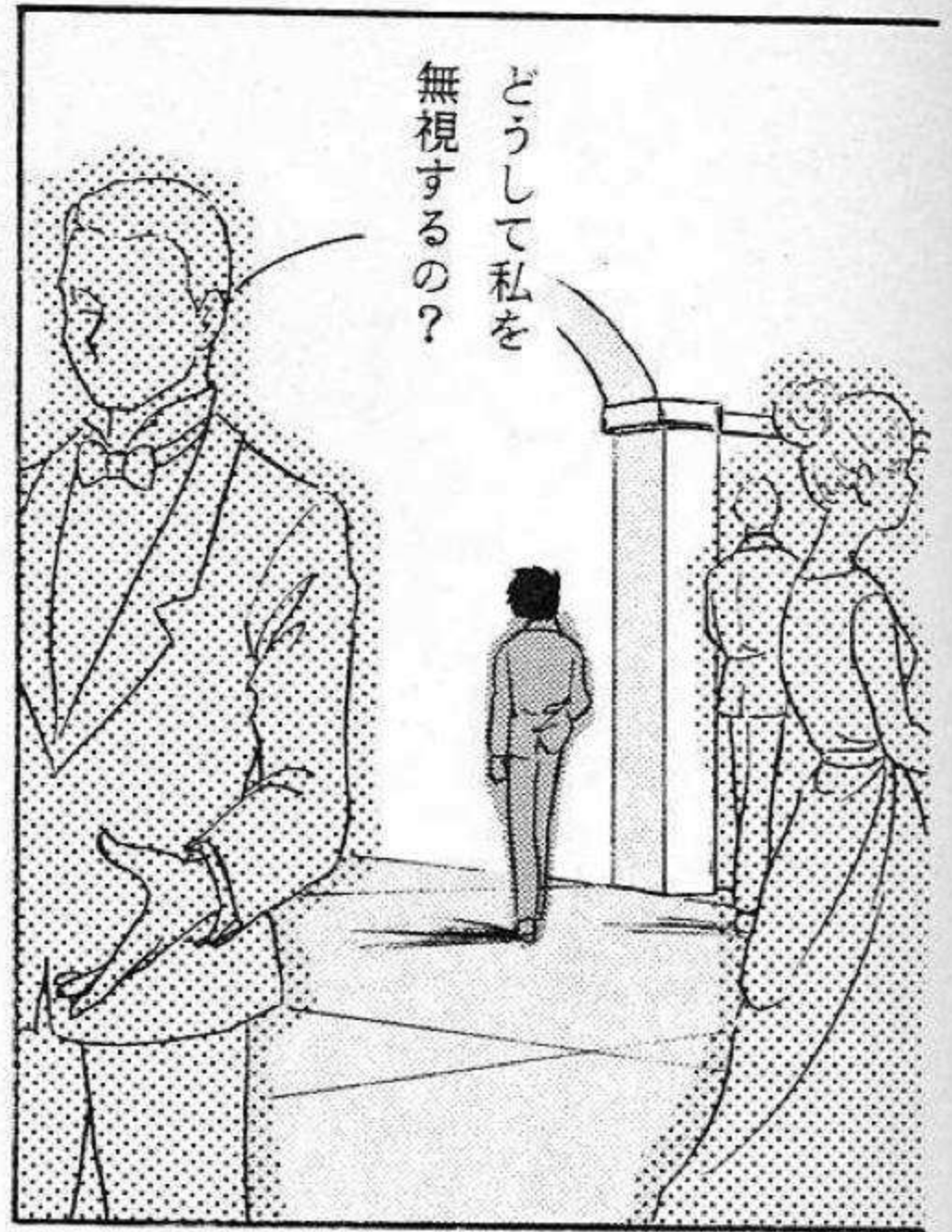


来て下さったのね
うれしいわ



アッ



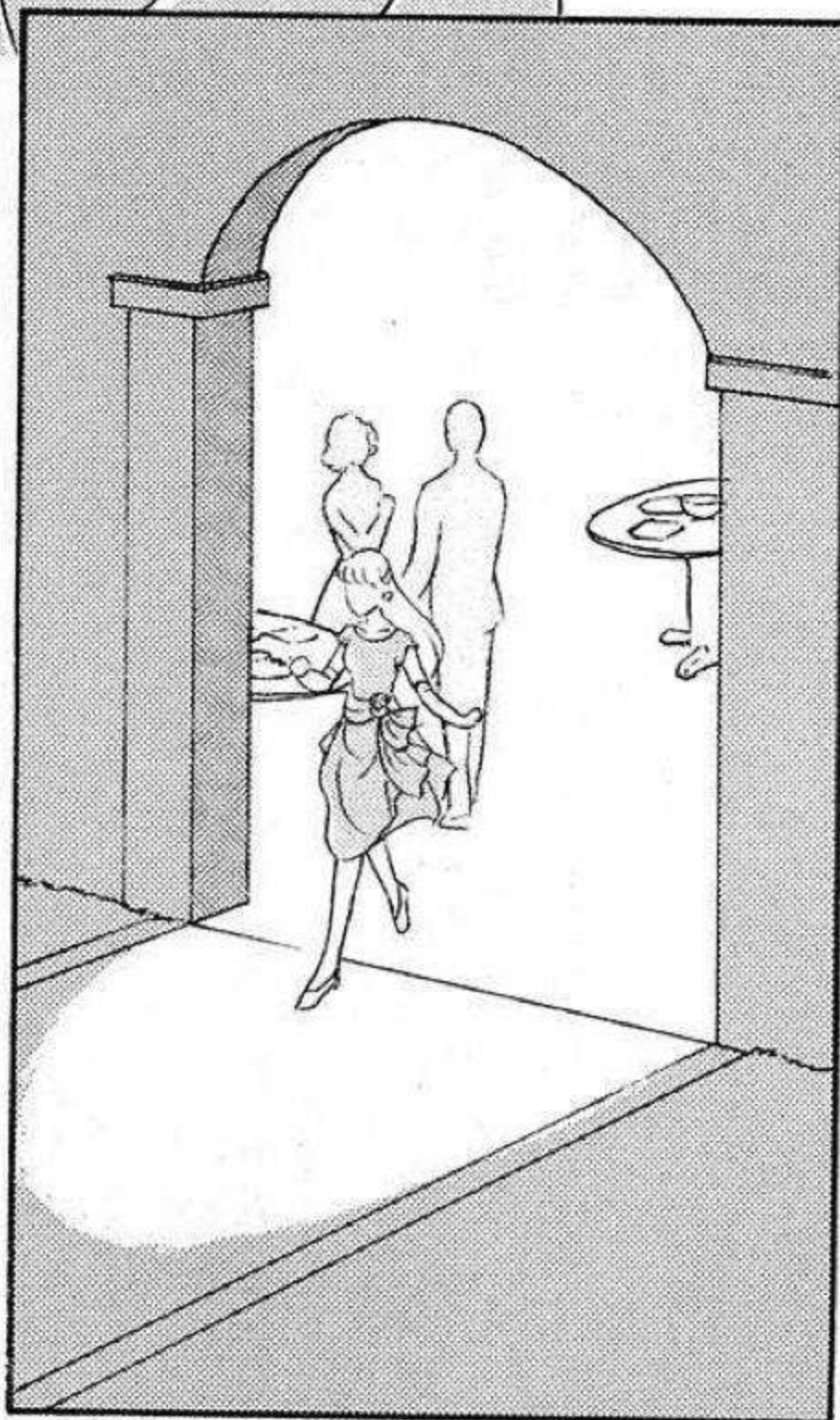
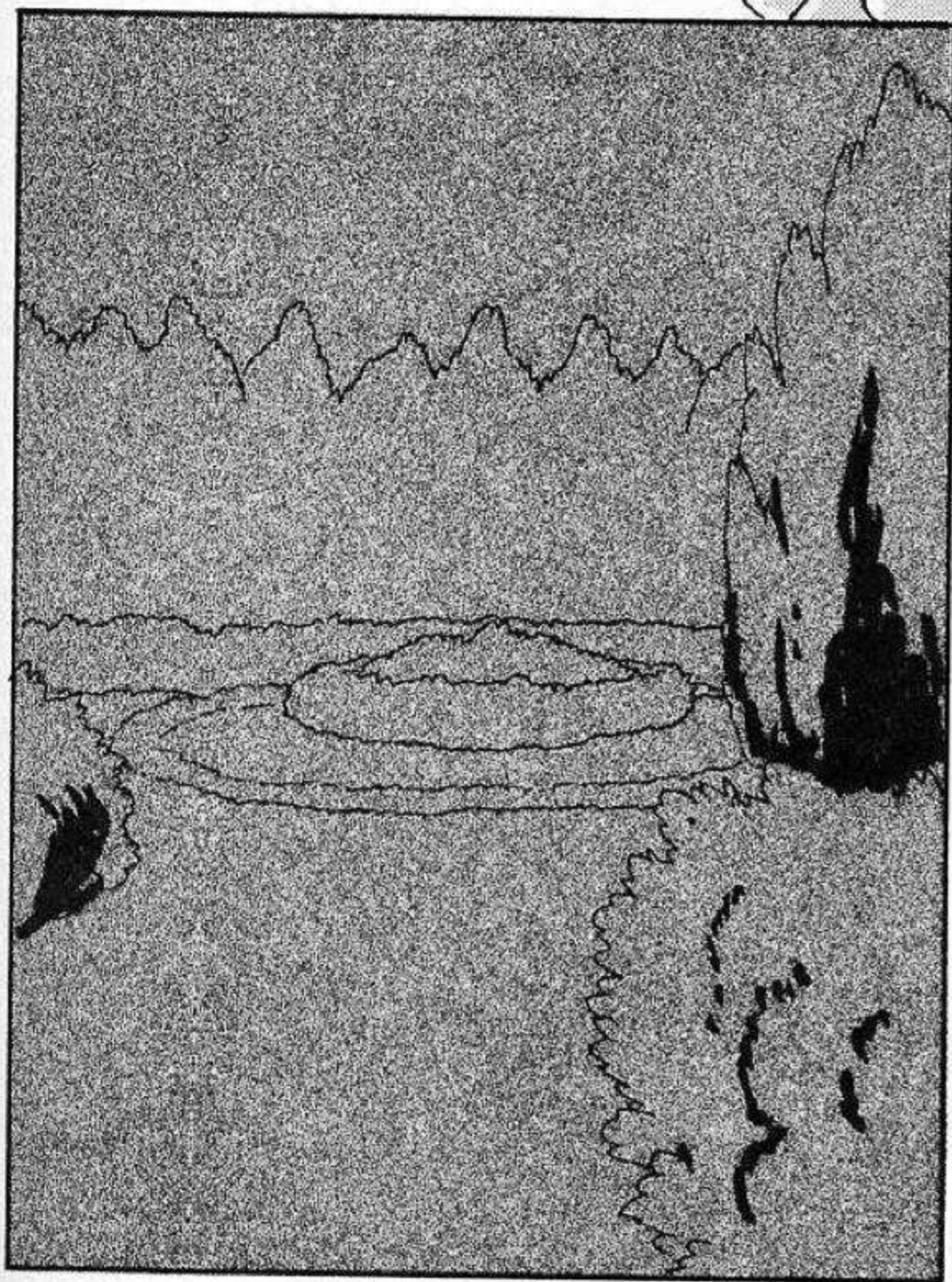


なによ
その目

無視しておいて

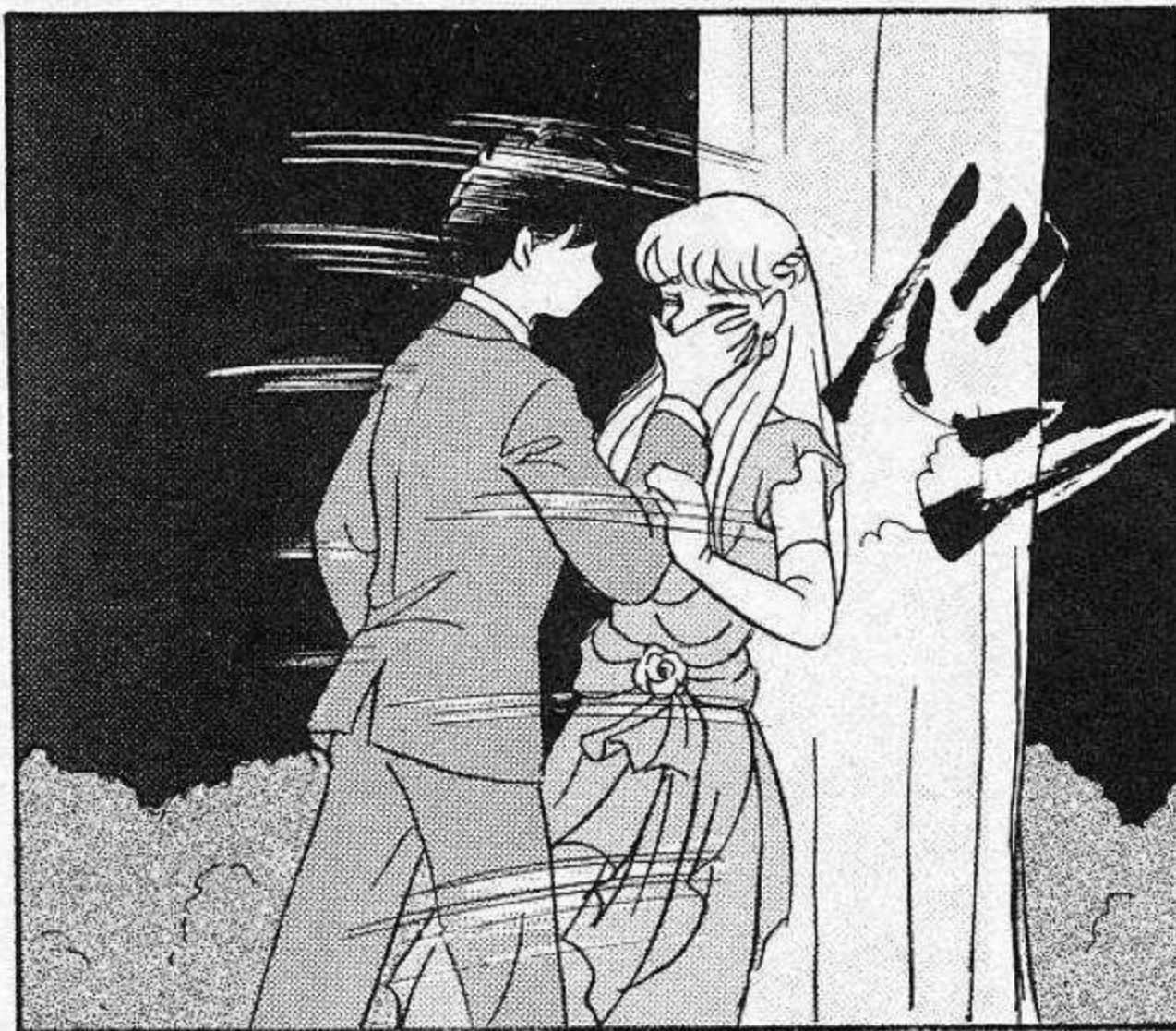
ゆるせない

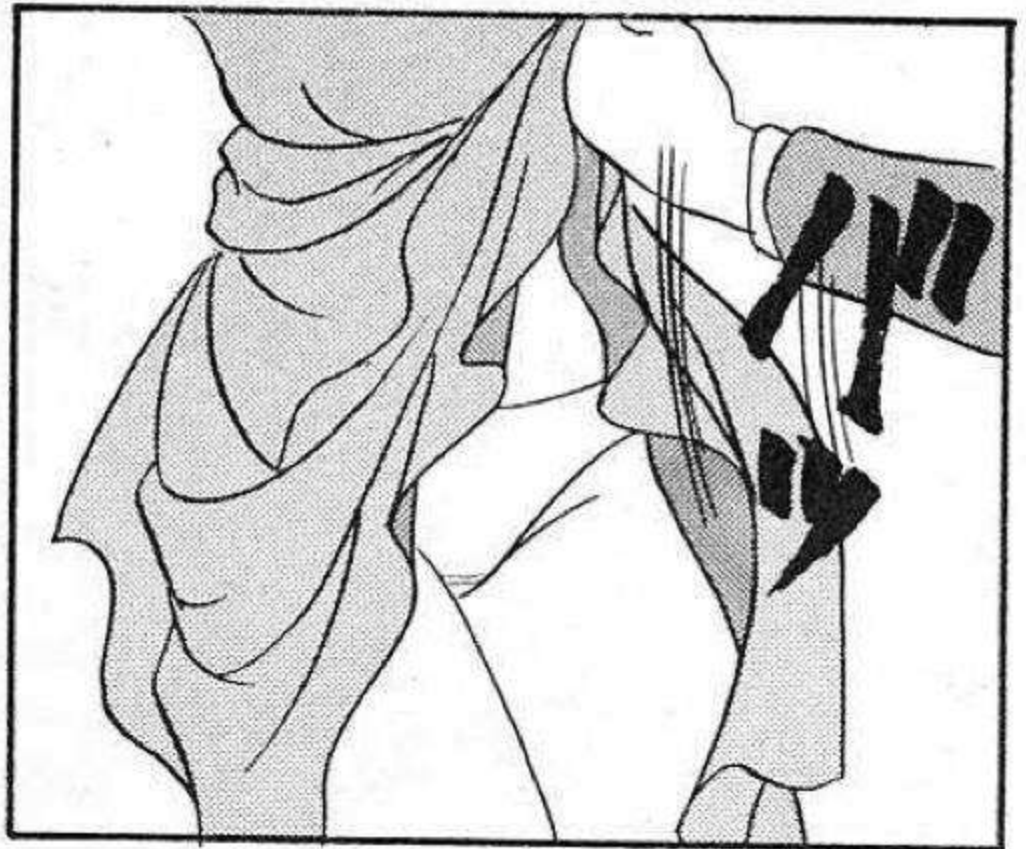
私を
からかうなんて

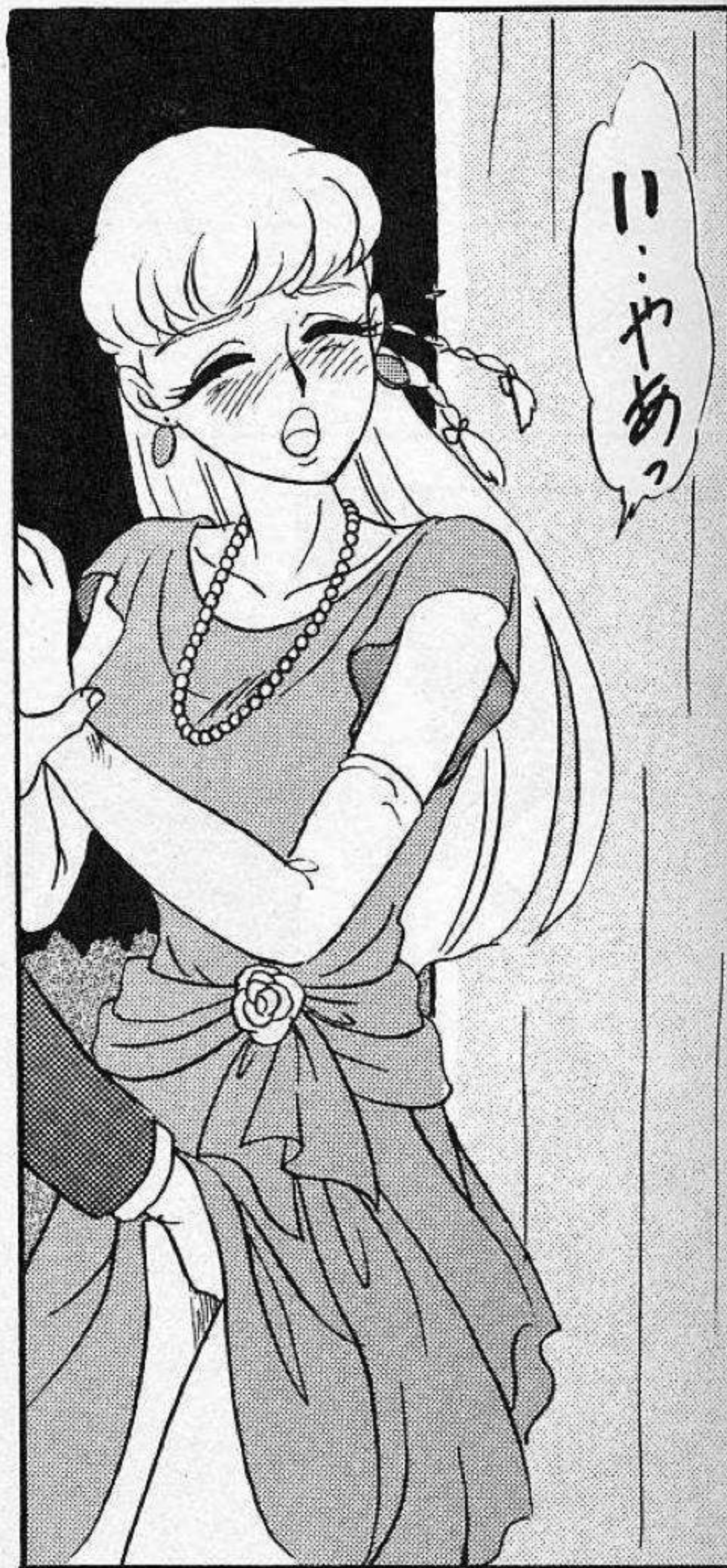
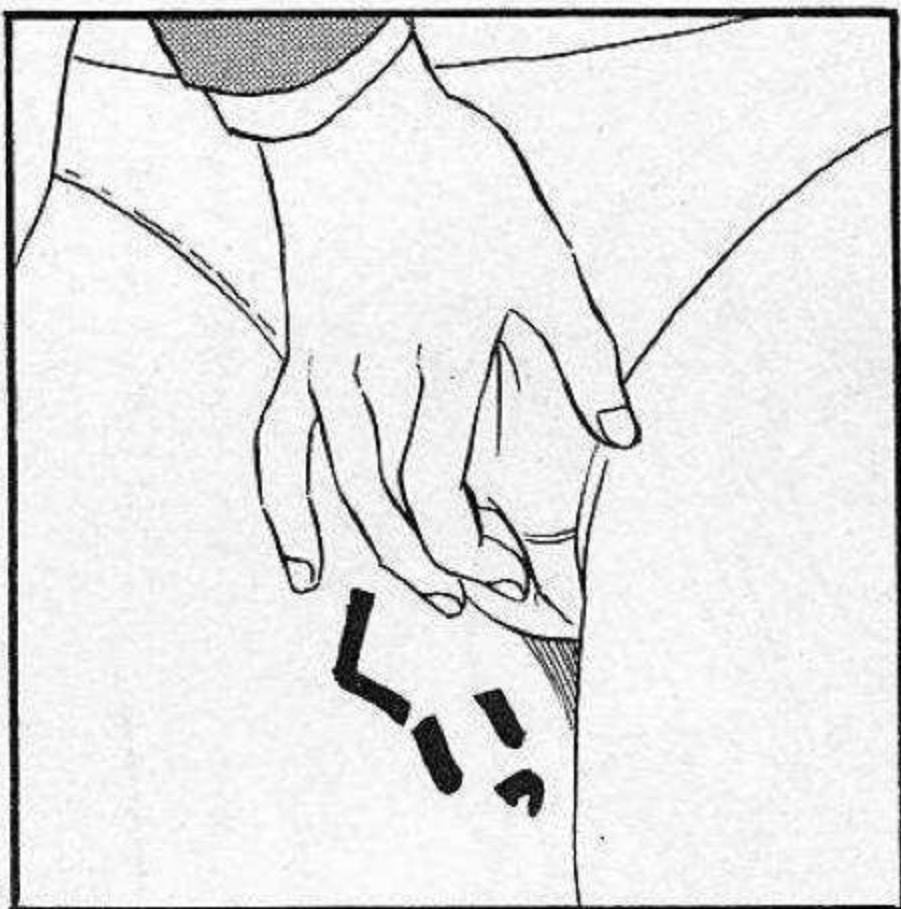




ザッ

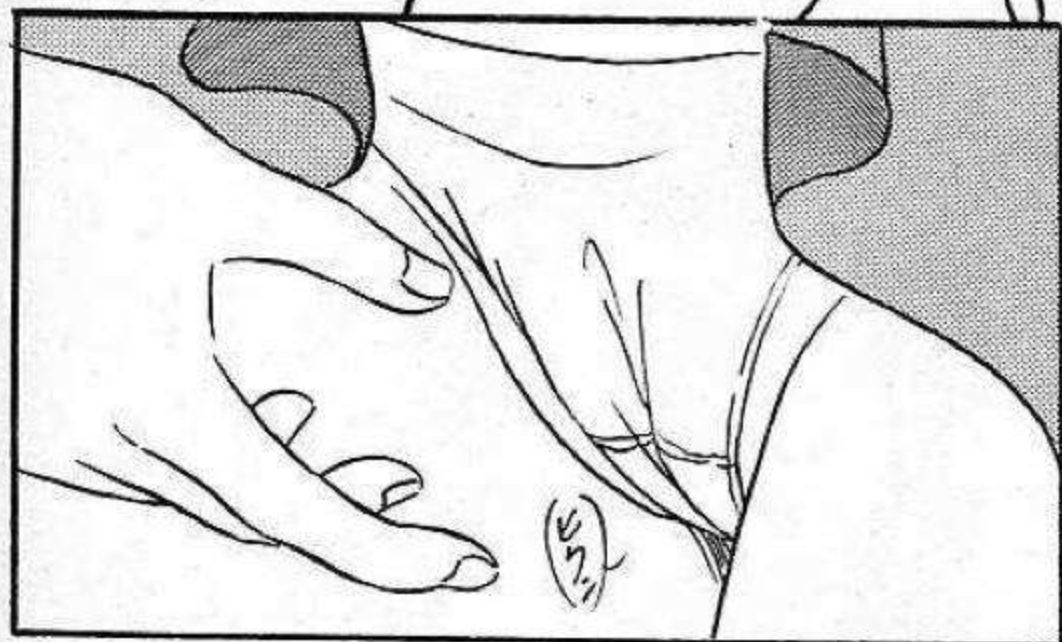
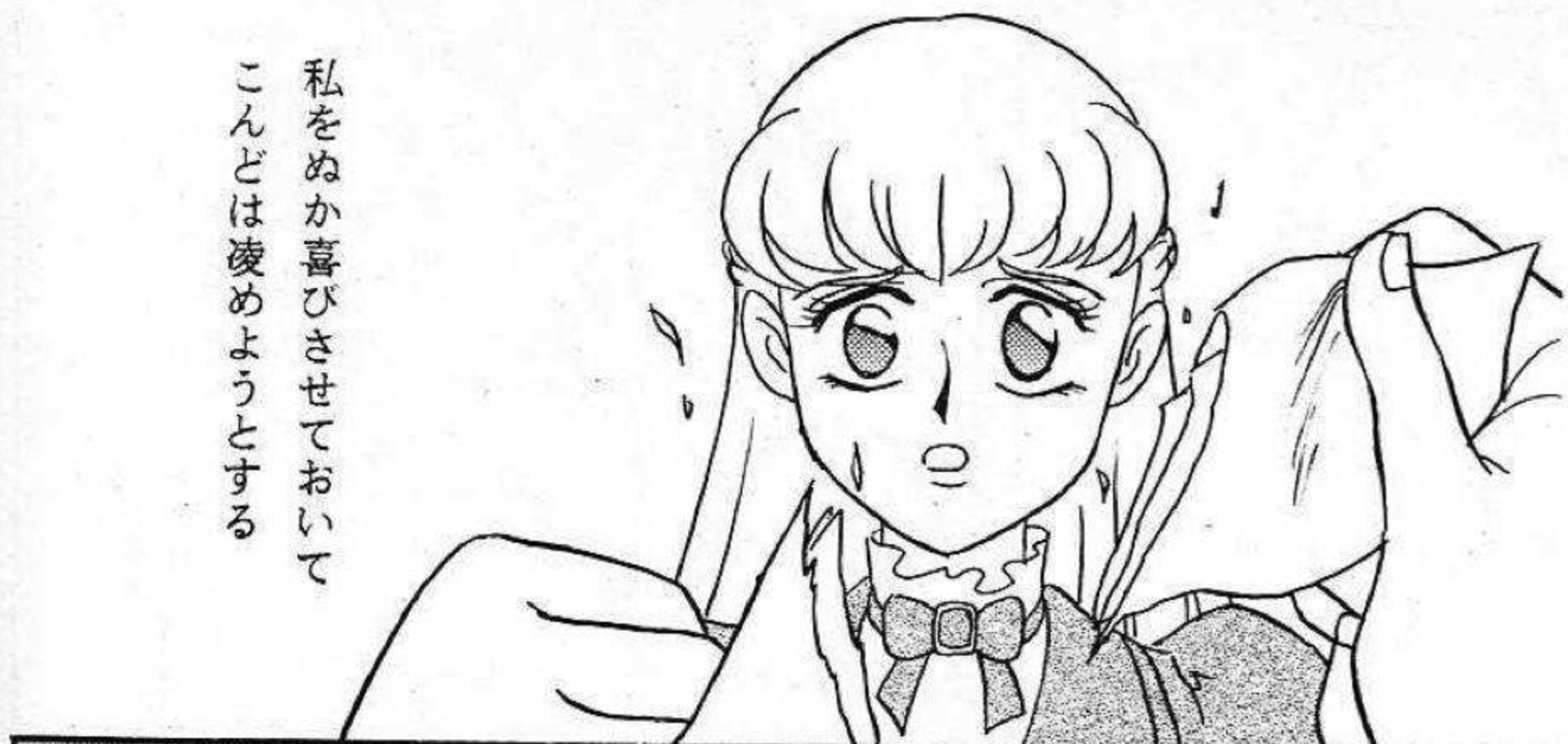




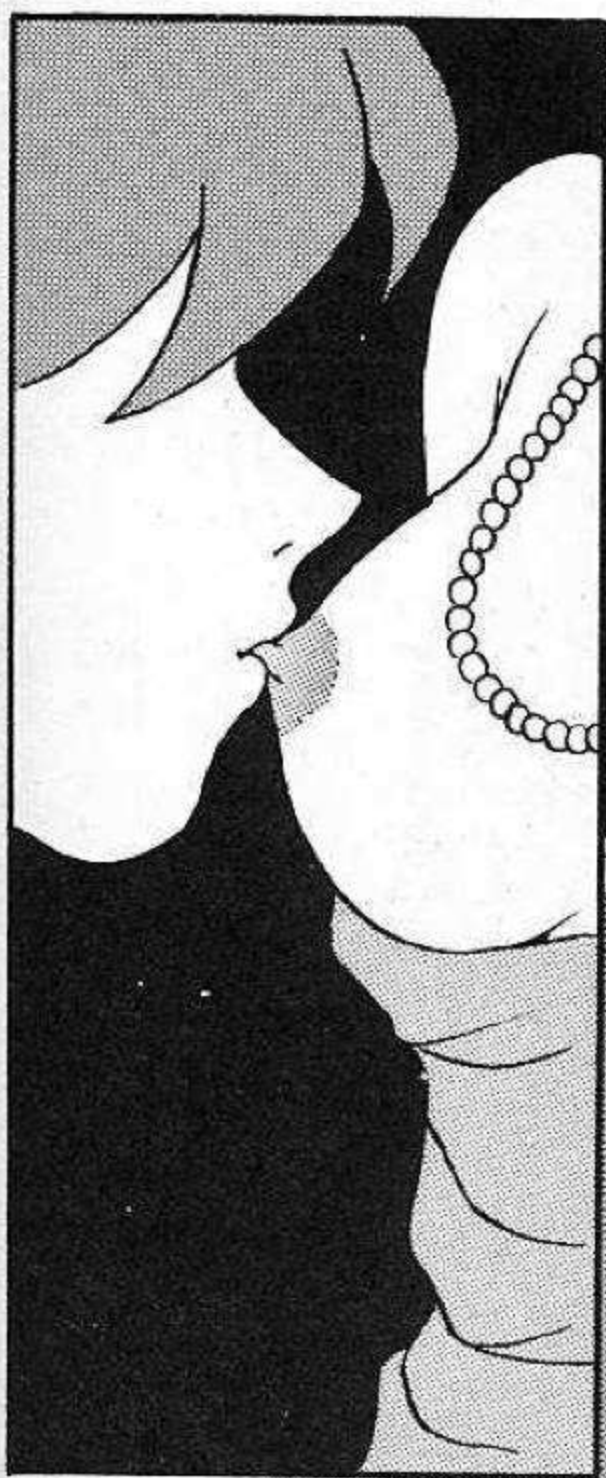


私をぬか喜びさせておいて
こんどは凌めようとする

招待状を破いたのに
ここに来て……



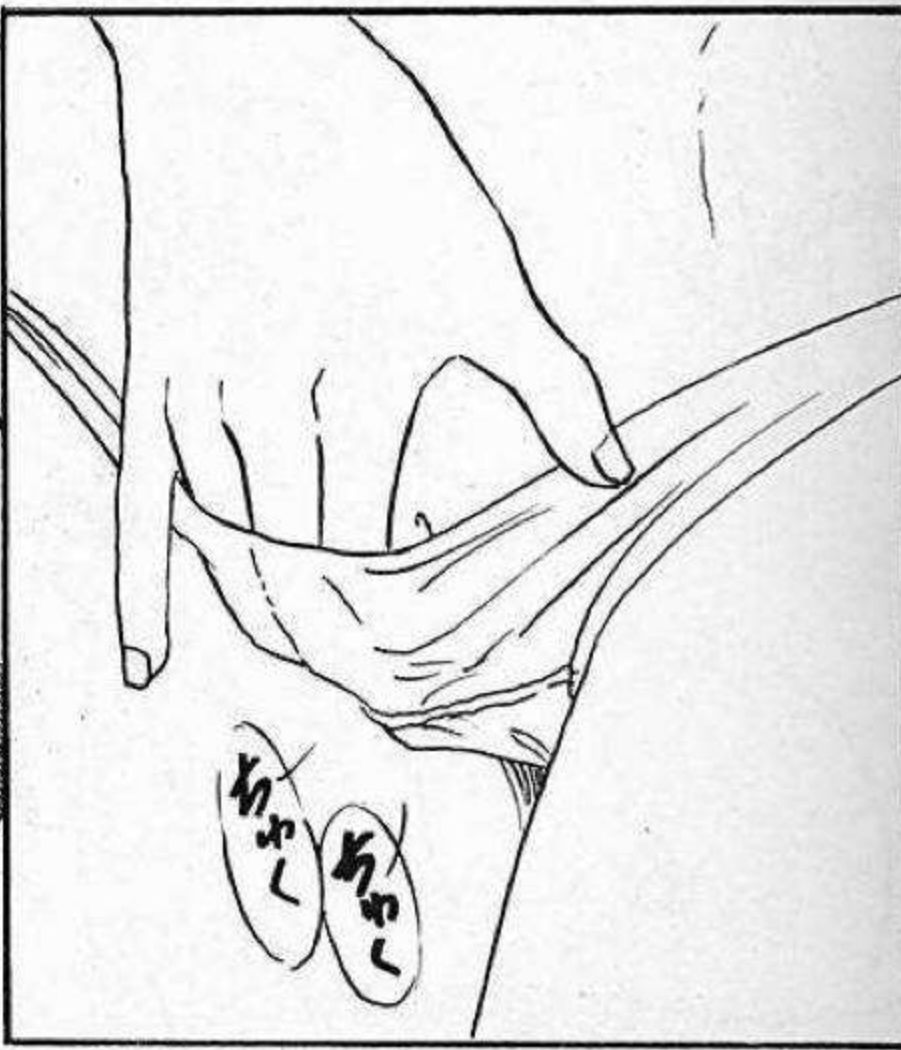
俺のことを
知りたがり
すぎるからだ



こんな
いやらしいこと

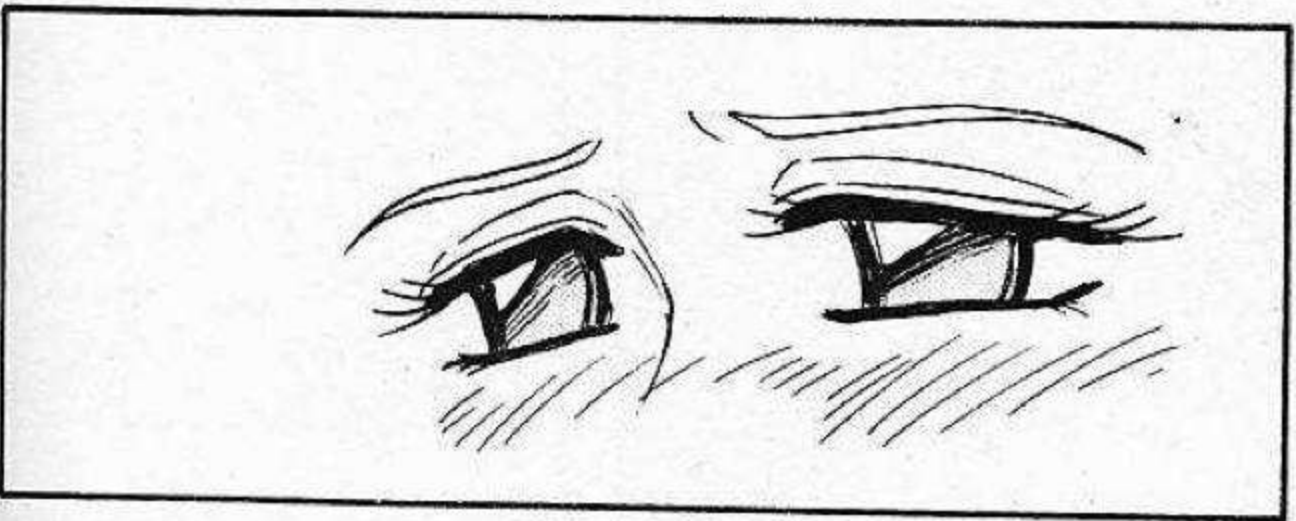
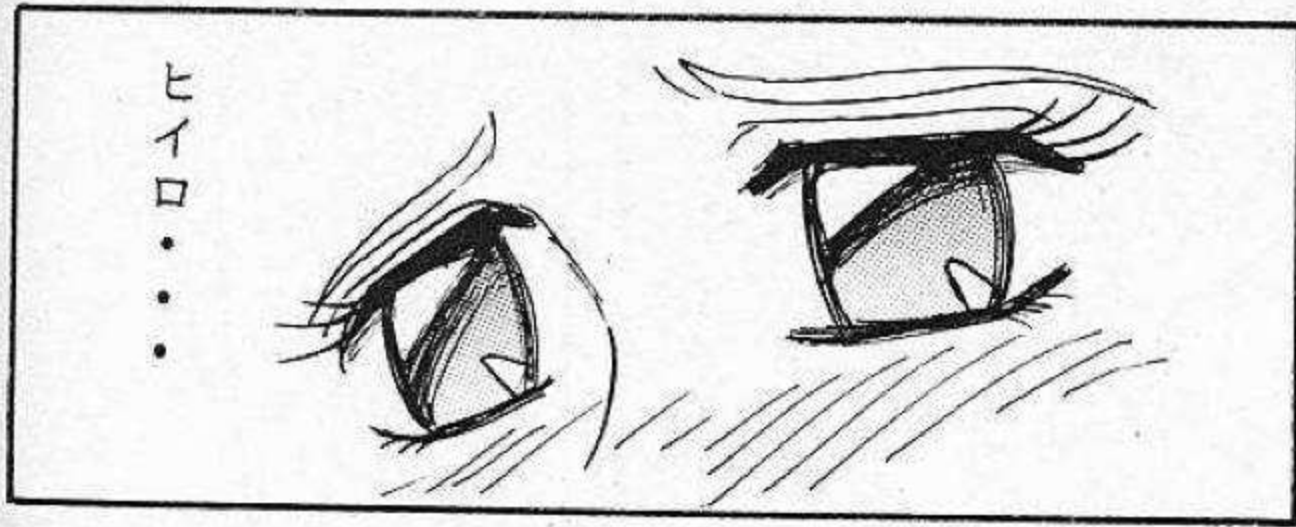
だめっ

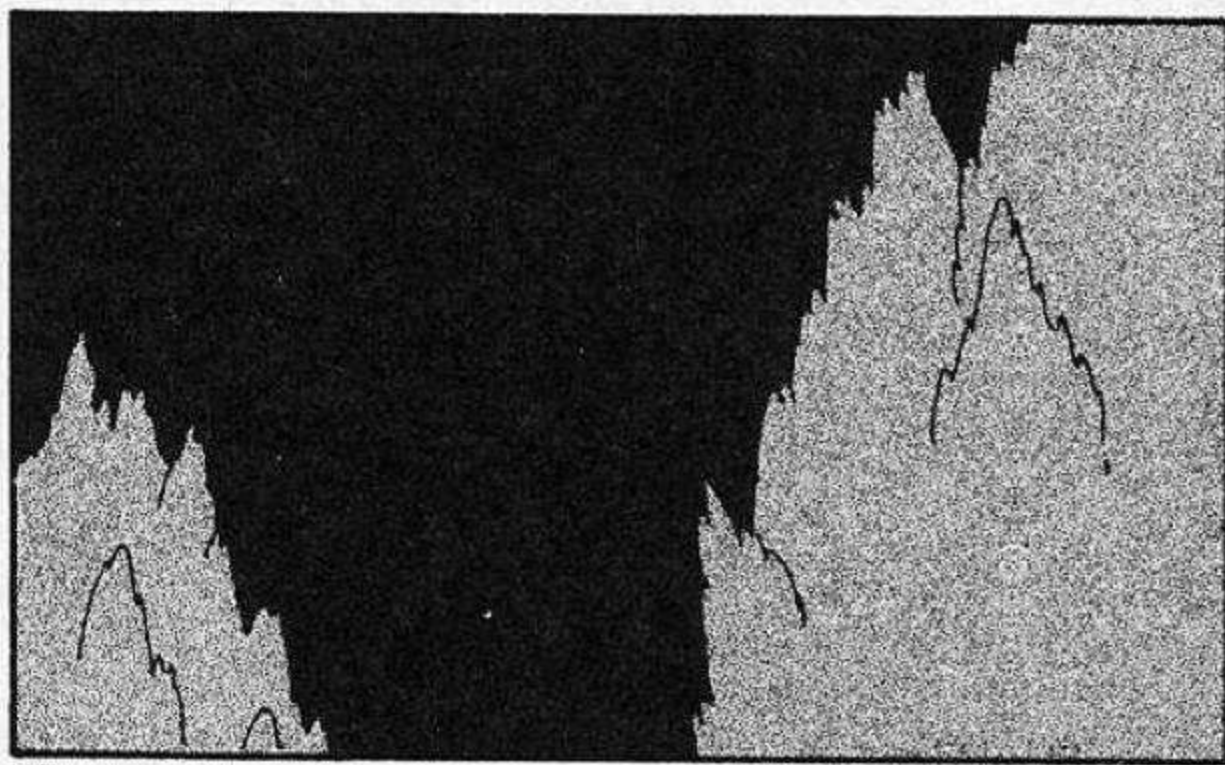
感じたり
するものですか

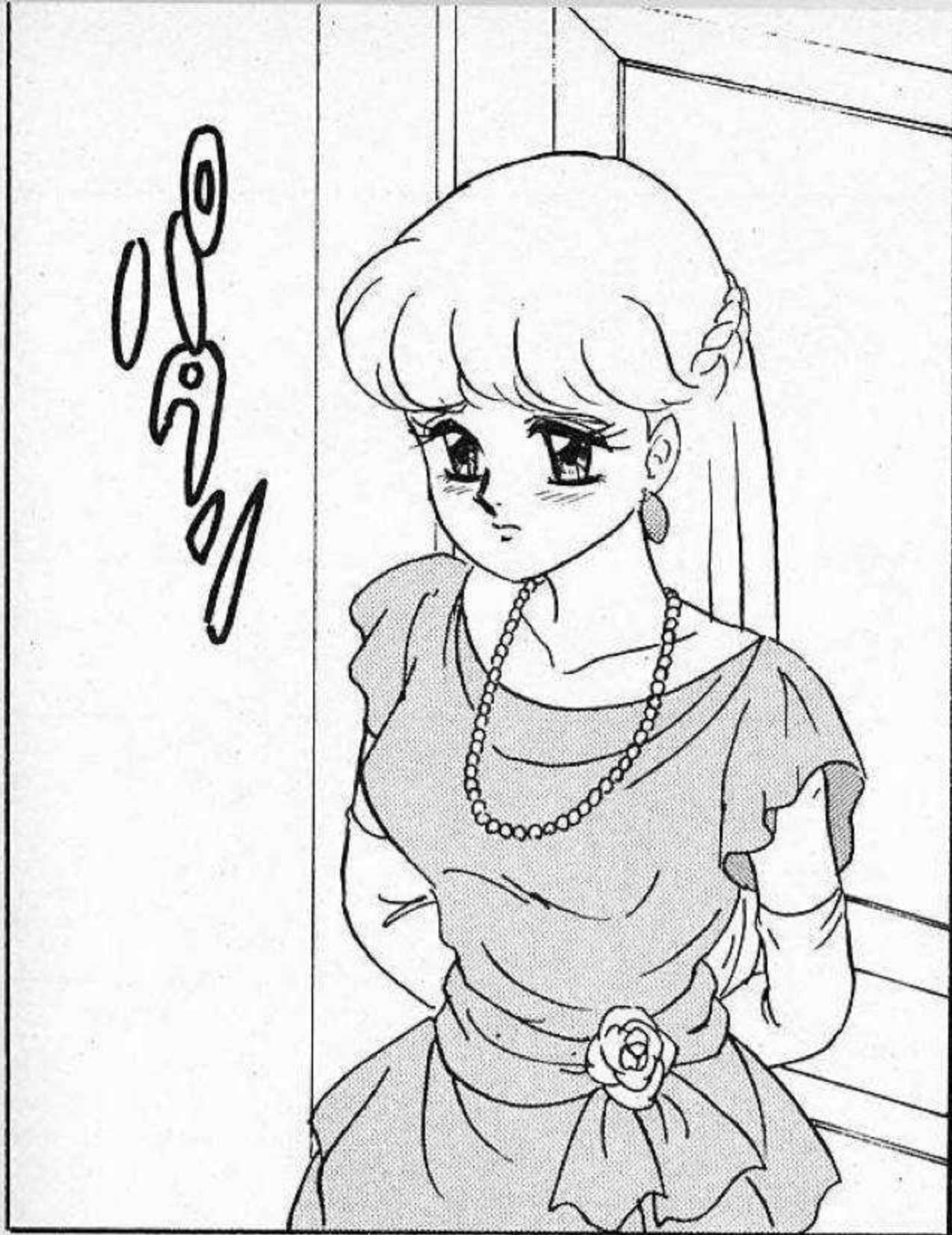








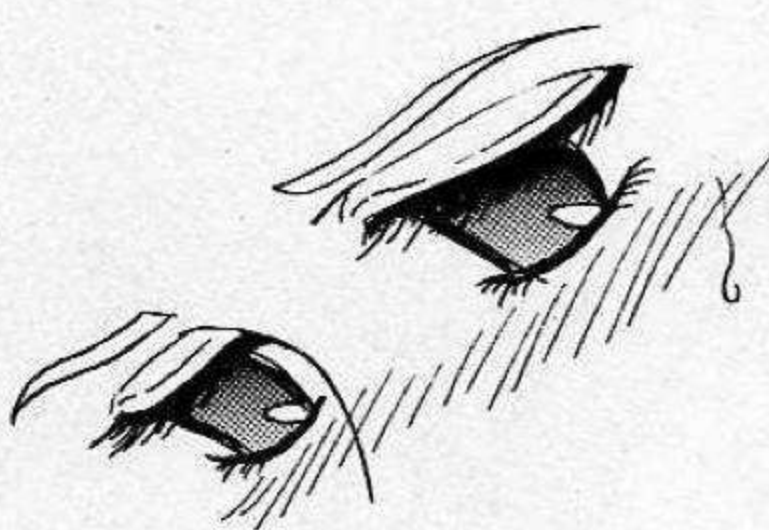




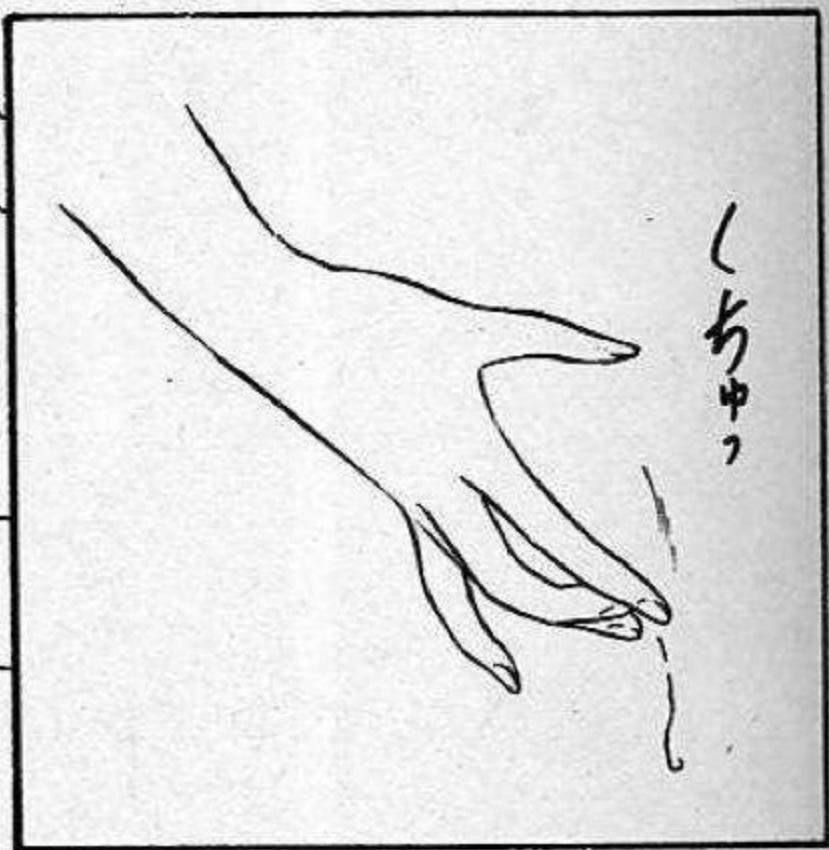
かあ あっ



パーティーの間中
下着なしで
過ごしたなんて



今思い出しても
信じられない

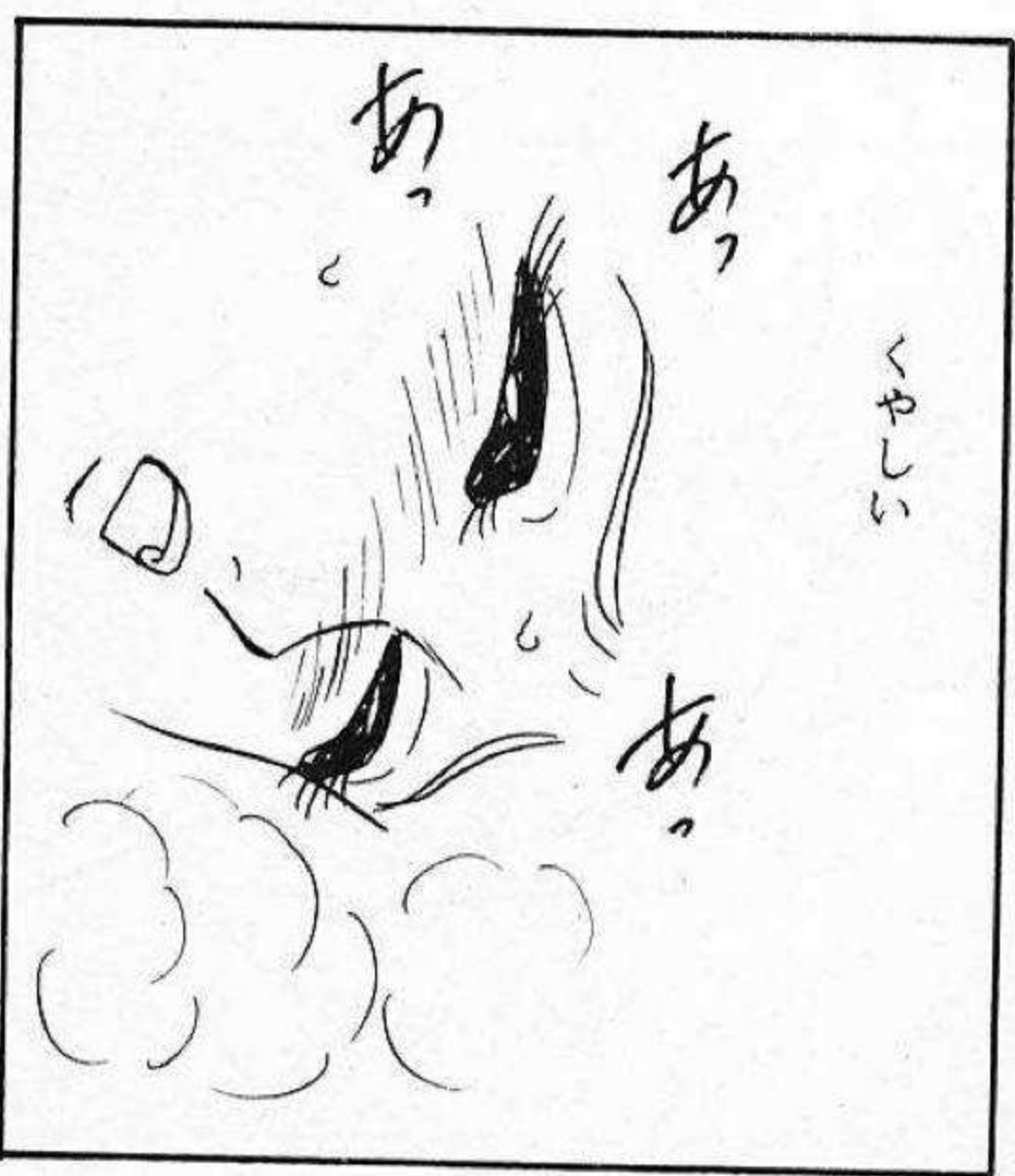


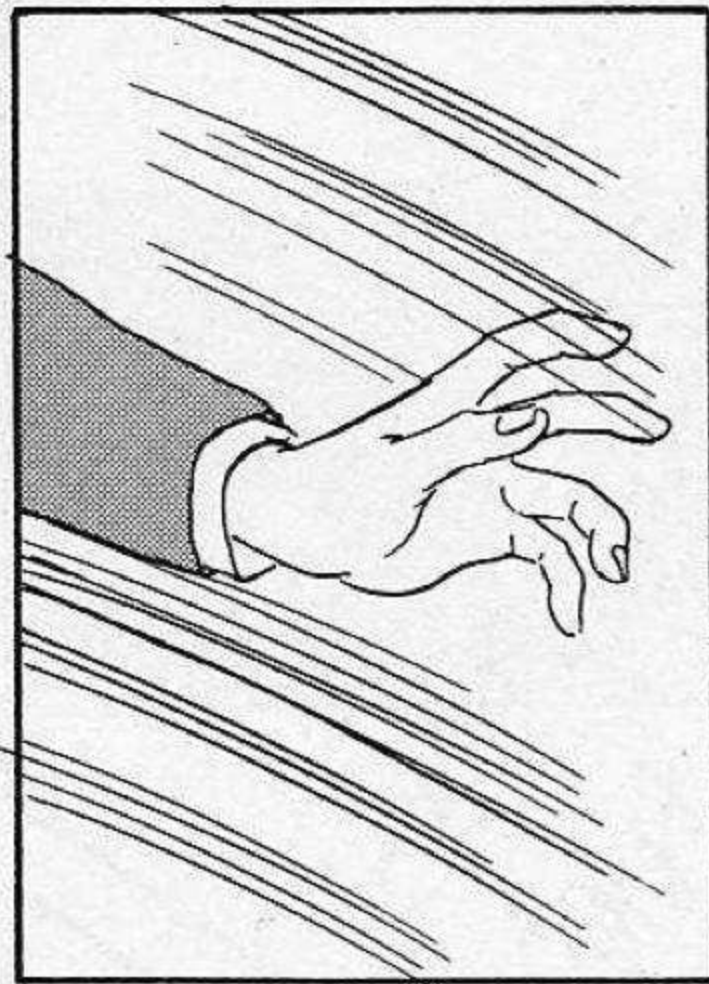
いけない
こんなこと……

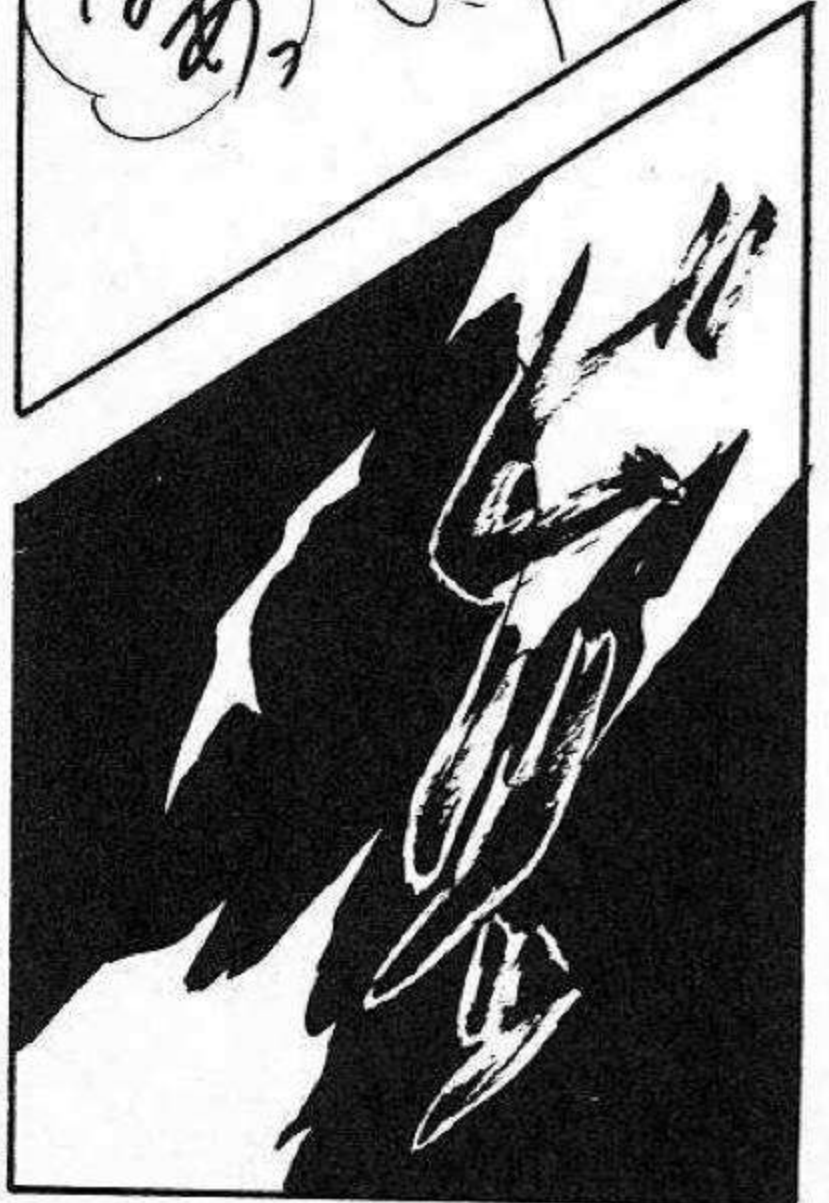
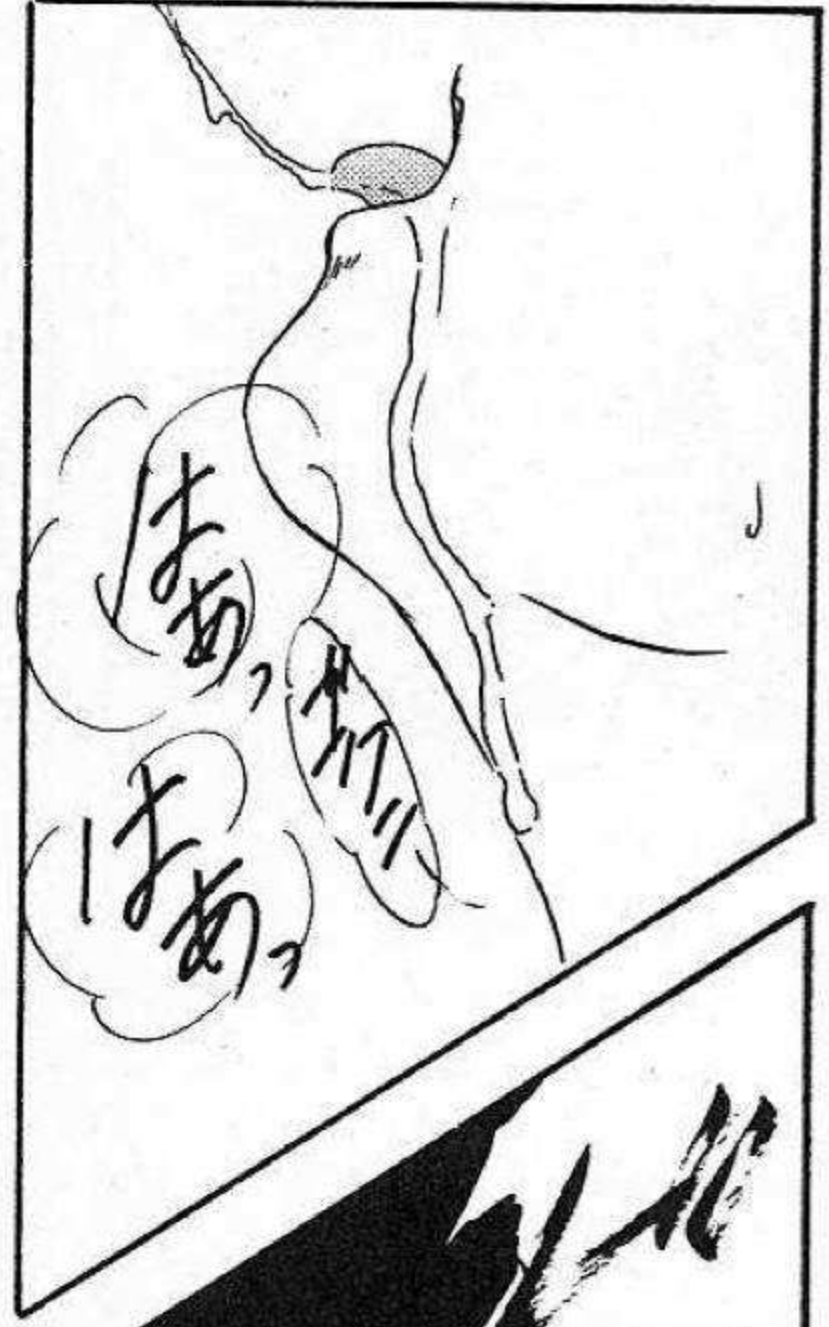
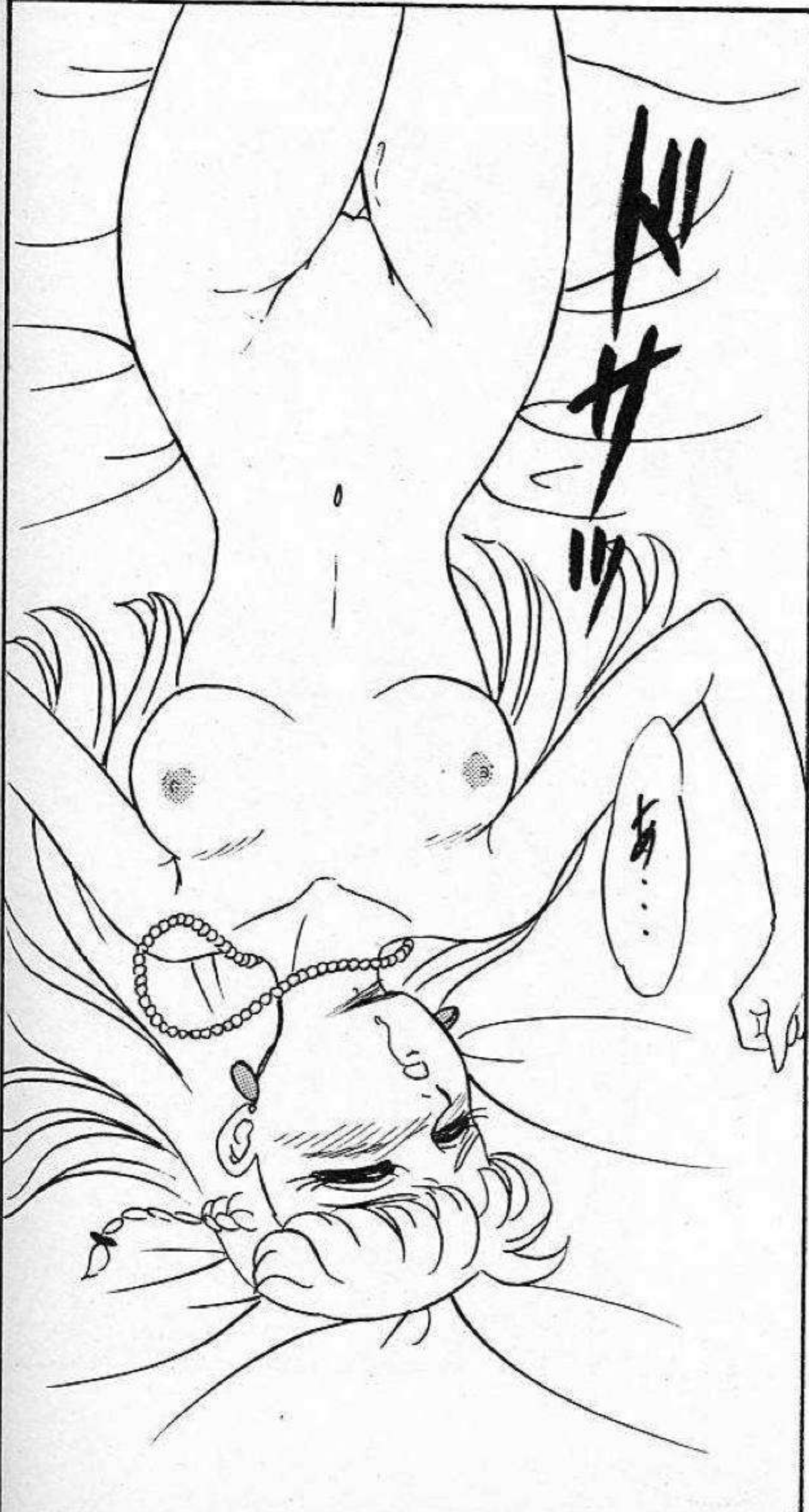
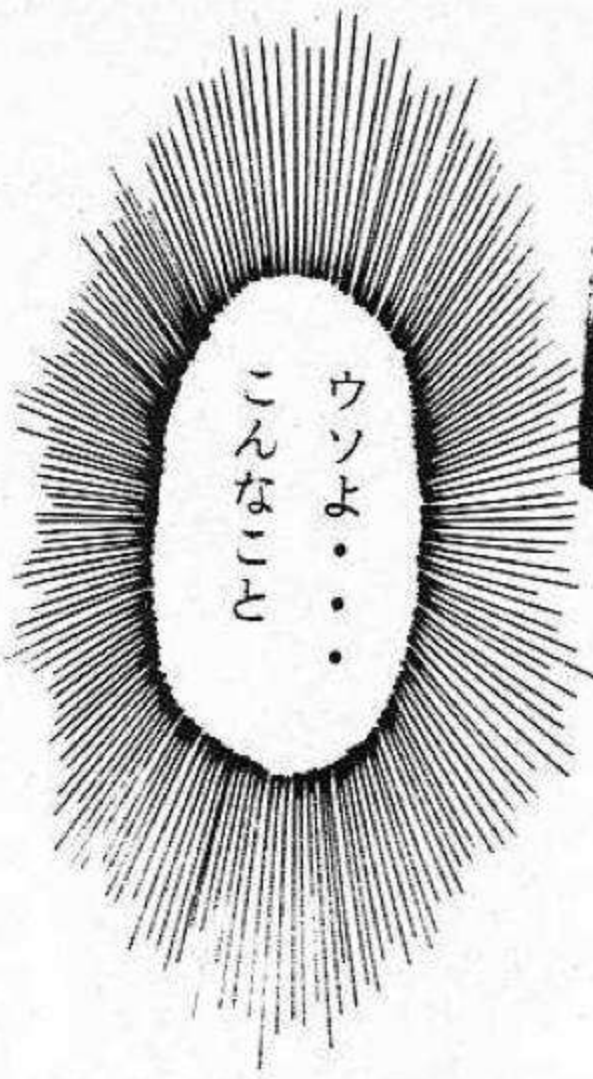
ん……
う……んっ



ヒロの指が
忘れられないなんて









えっ?



足を開いて
オレによく
見せてみる

そんな
恥ずかしいこと
私にしると
言うの?

ヒイロ
ひどい人



あ……あ

ハア
ハア

今の
私には……

逆らえない

ああ……だめ……



命をねらわれている
はずのヒロの
いいなりになって

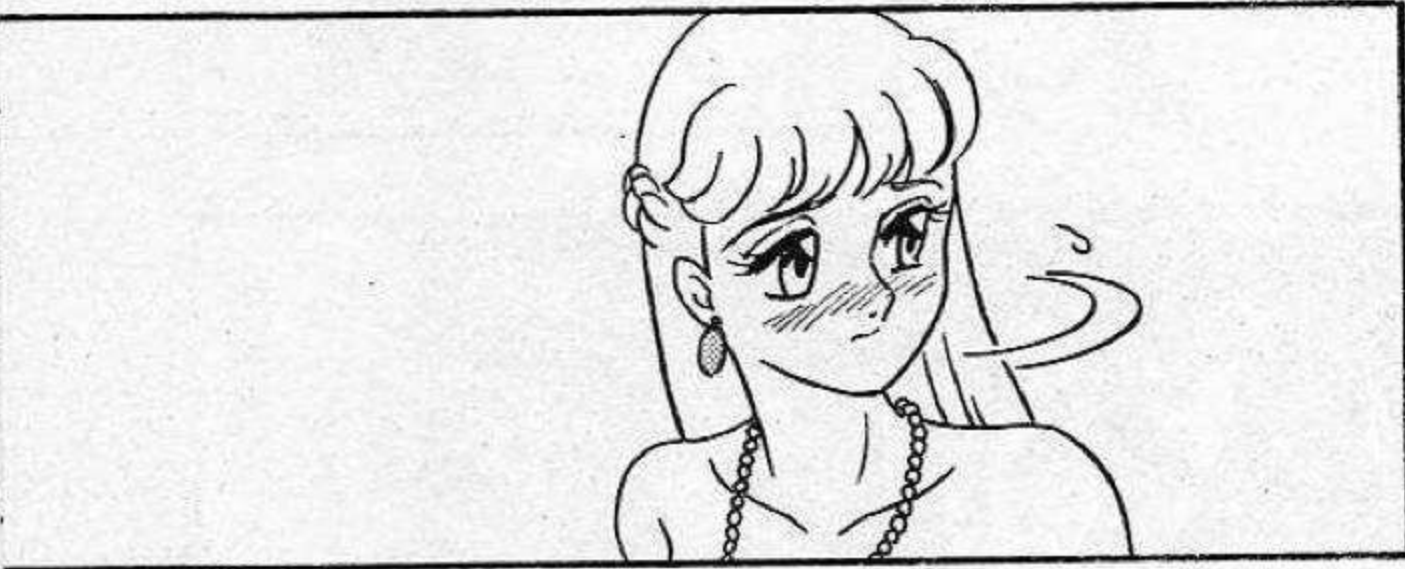
私・・・私
どうか
しちやってる

こんな恥ずかしいこと
しているなんて



濡れちゃう
濡れちゃう

ヒロロに
見つめられてる
だけで

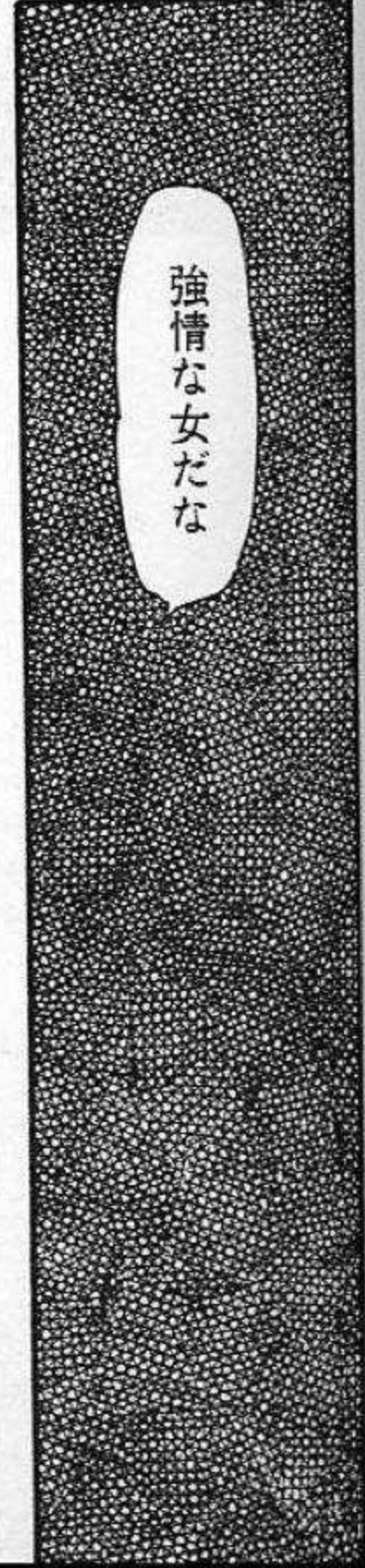


どうして
ほしいか
言ってみろ



あ、あ、あ

っ、っ、っ



強情な女だな



くちゅ
くちゅ
くちゅ

あ、あ

あ、あ

あ、あ

あ、あ



気持ち
いいんだろ？

こんなに
ぐちゃぐちゃに
濡らして



は...
はい

気持ち
いいです

ハア

ハア

ハア

ハア

く...
ください

あなたのを

私の...
中に...







最初から
魅き込まれていたわ

あなたの全てを
拒絶した・・・でも
哀しみに満ちた瞳に

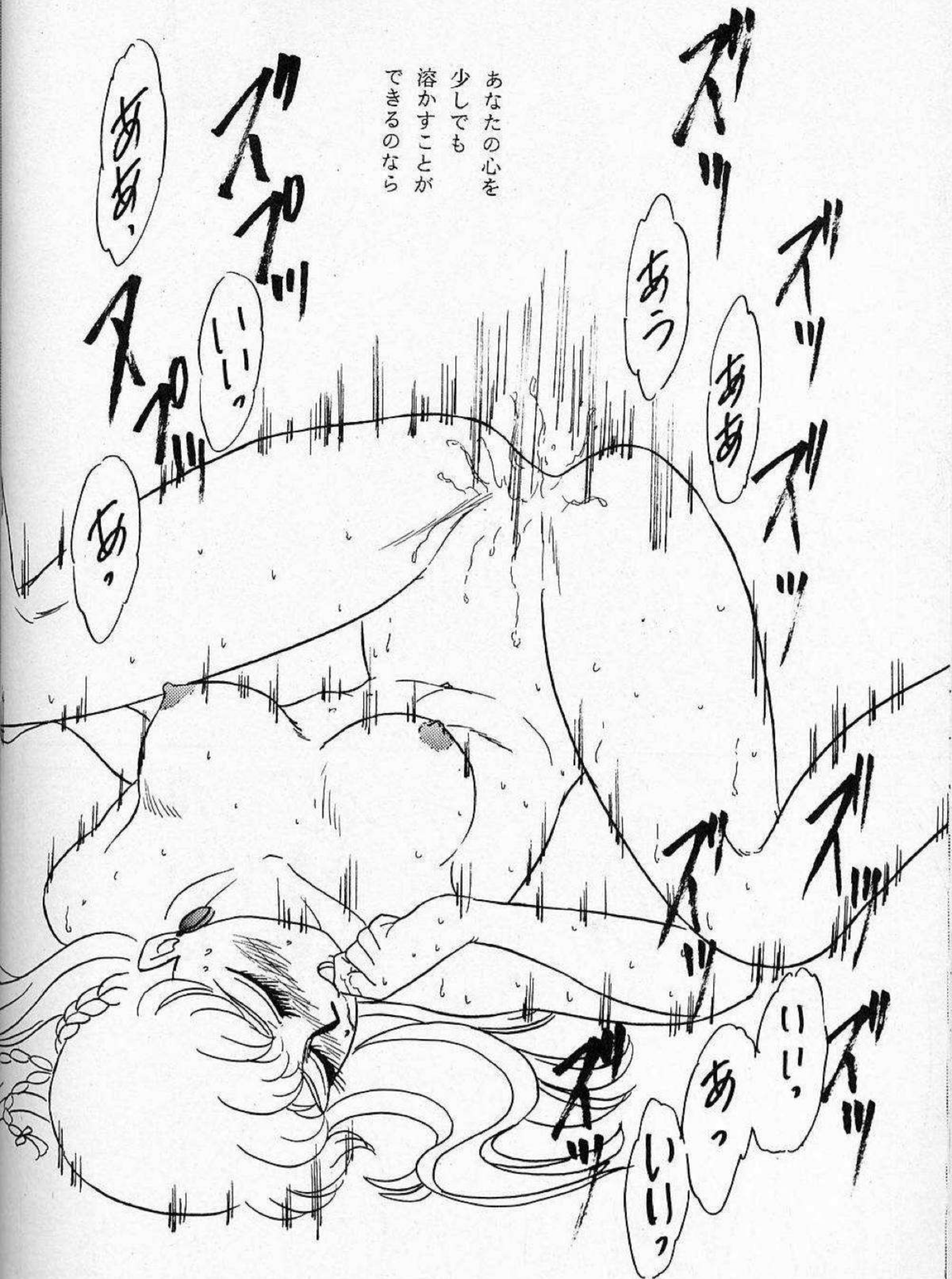


あなたの
なぐさみものでも
いい・・・



あなたの
奴隷でも
いいの

あなたの心を
少しでも
溶かすことが
できるのなら





ヒヨロ

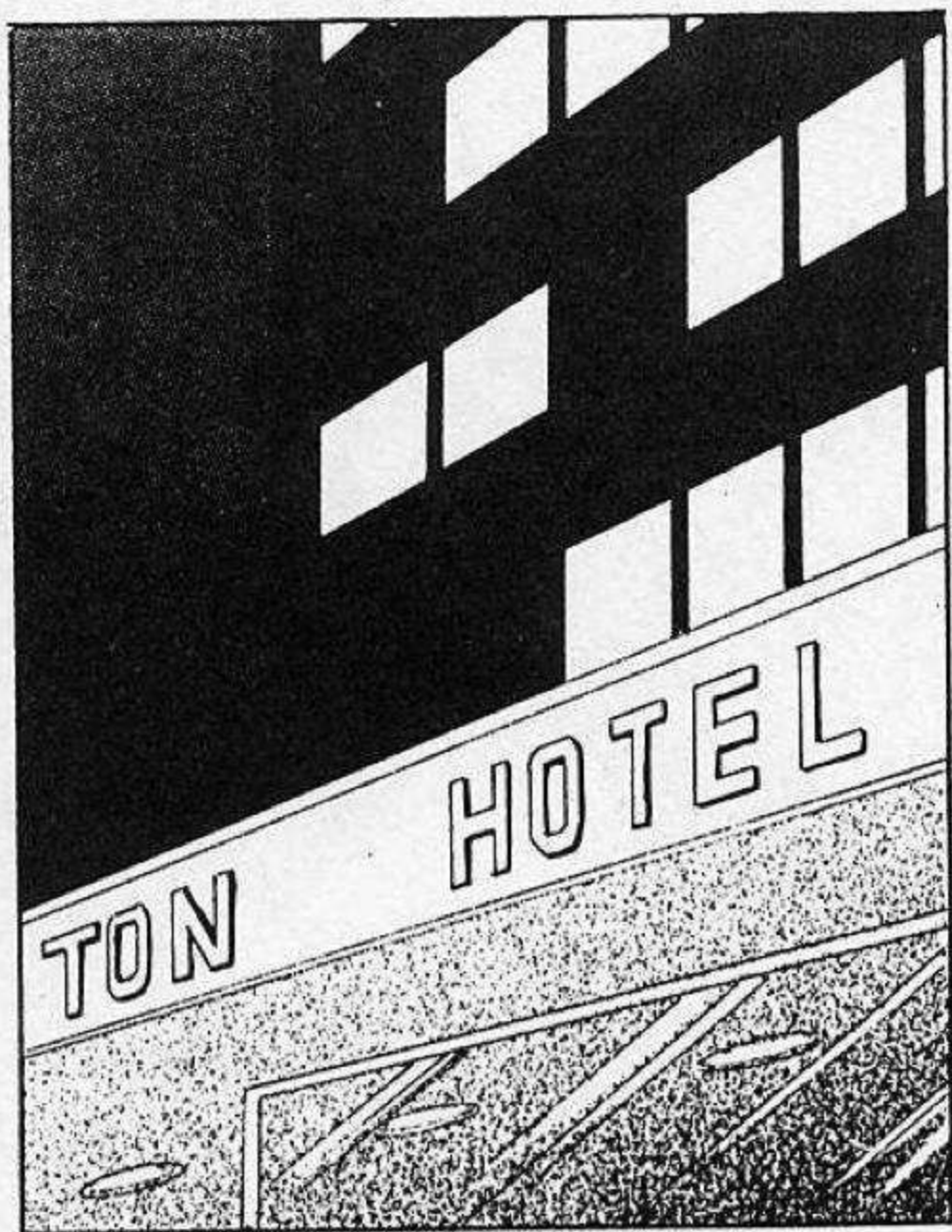
fin

私の名は
甘夏樹みかん (仮名)
特捜警察官だ

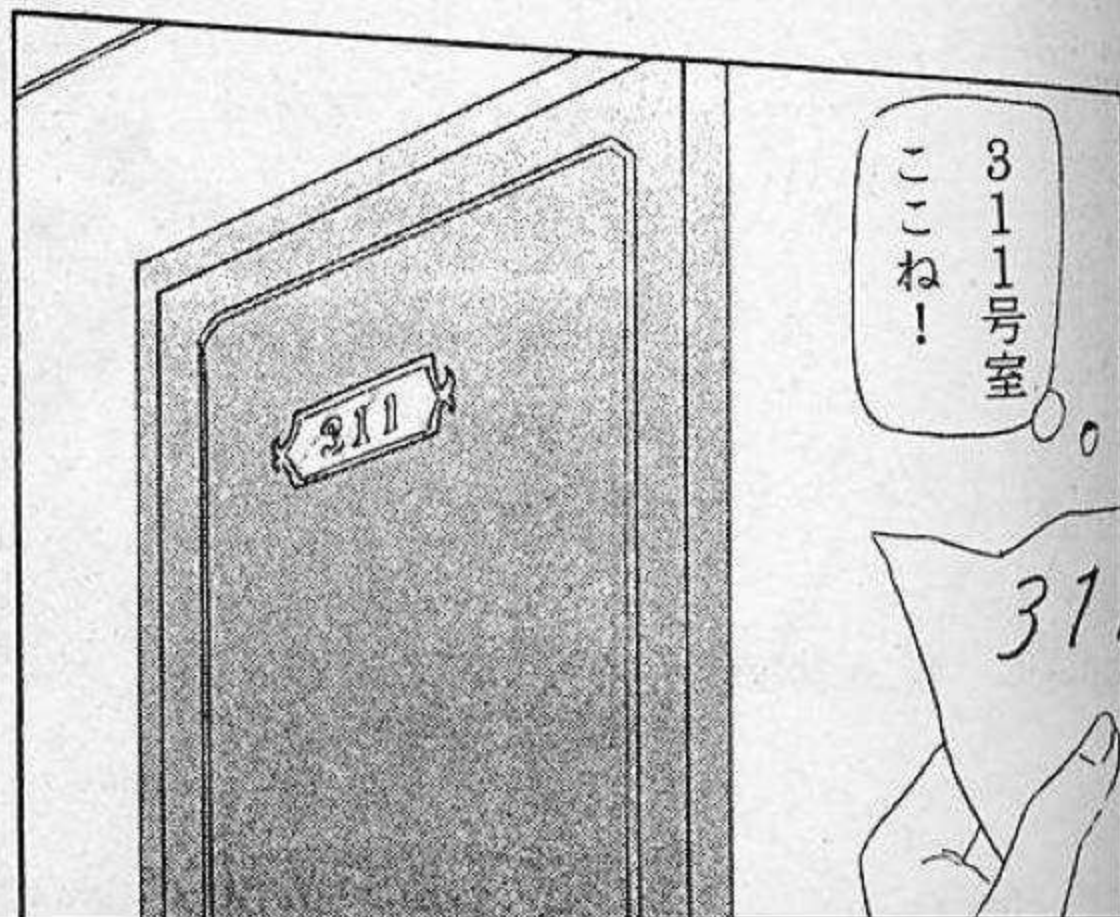
人知れず
犯罪を処理するのが
私の使命だ

復讐にしよう

94 July 秋の34
1221



今日、このホテルの一室で
麻薬の取引がある、との
通報が入った



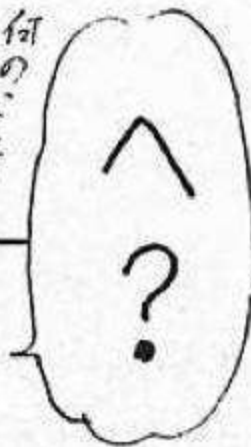


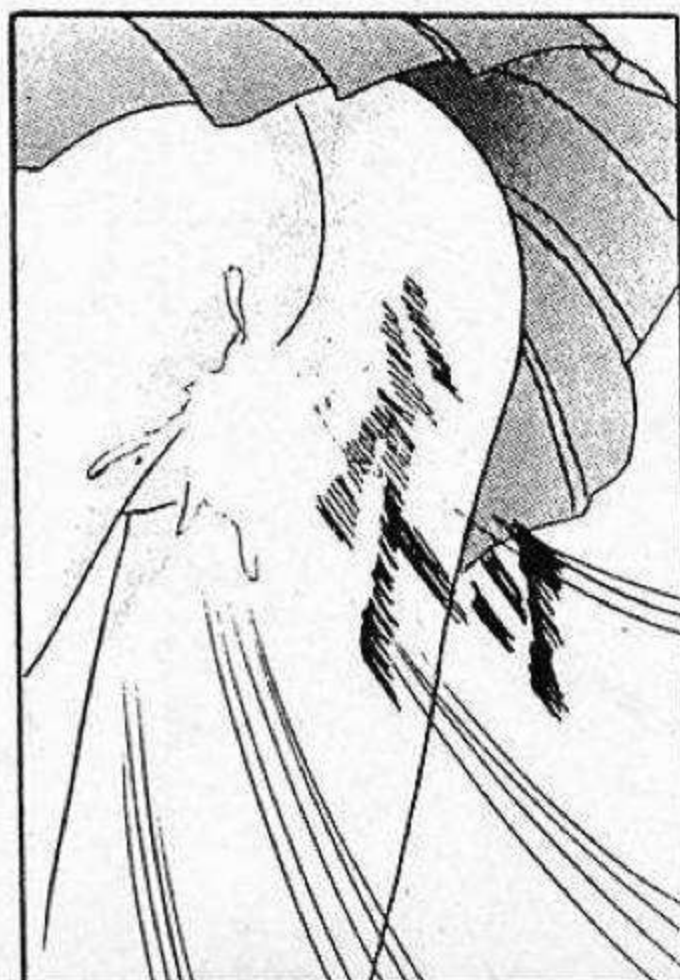
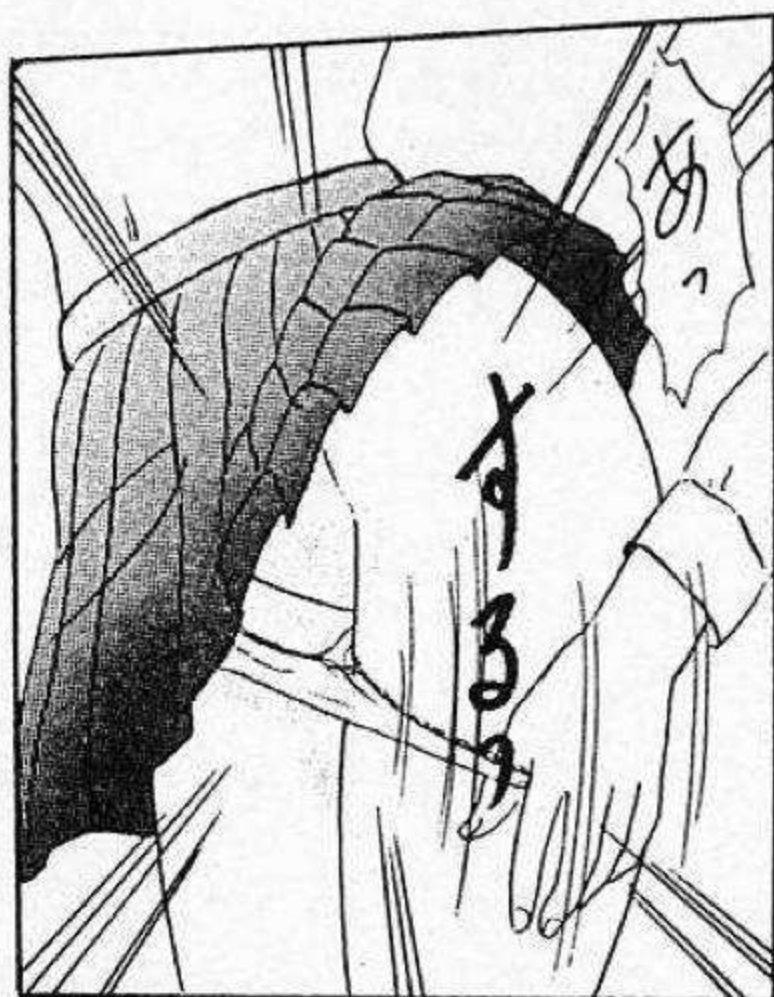
セーラー服
特捜刑事

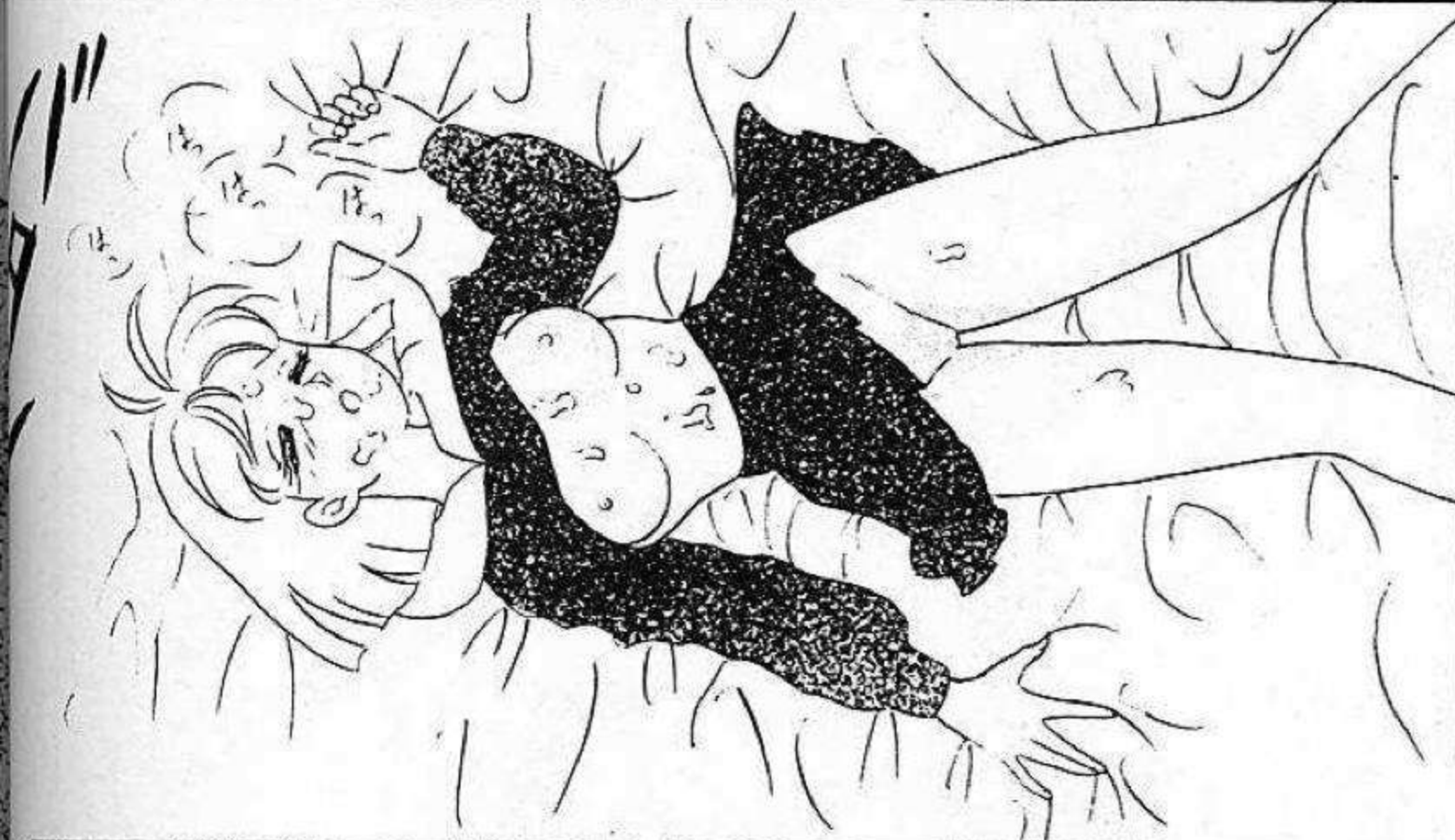
麻薬取締法違反で
逮捕する



何のこと?









話が違うじゃ
ないですか！
店長



君らの失敗のせいで
店が受けた損害を
私が立て替えたんだよ

これくらいの
残業はしてくれ
なきゃ合わないよ

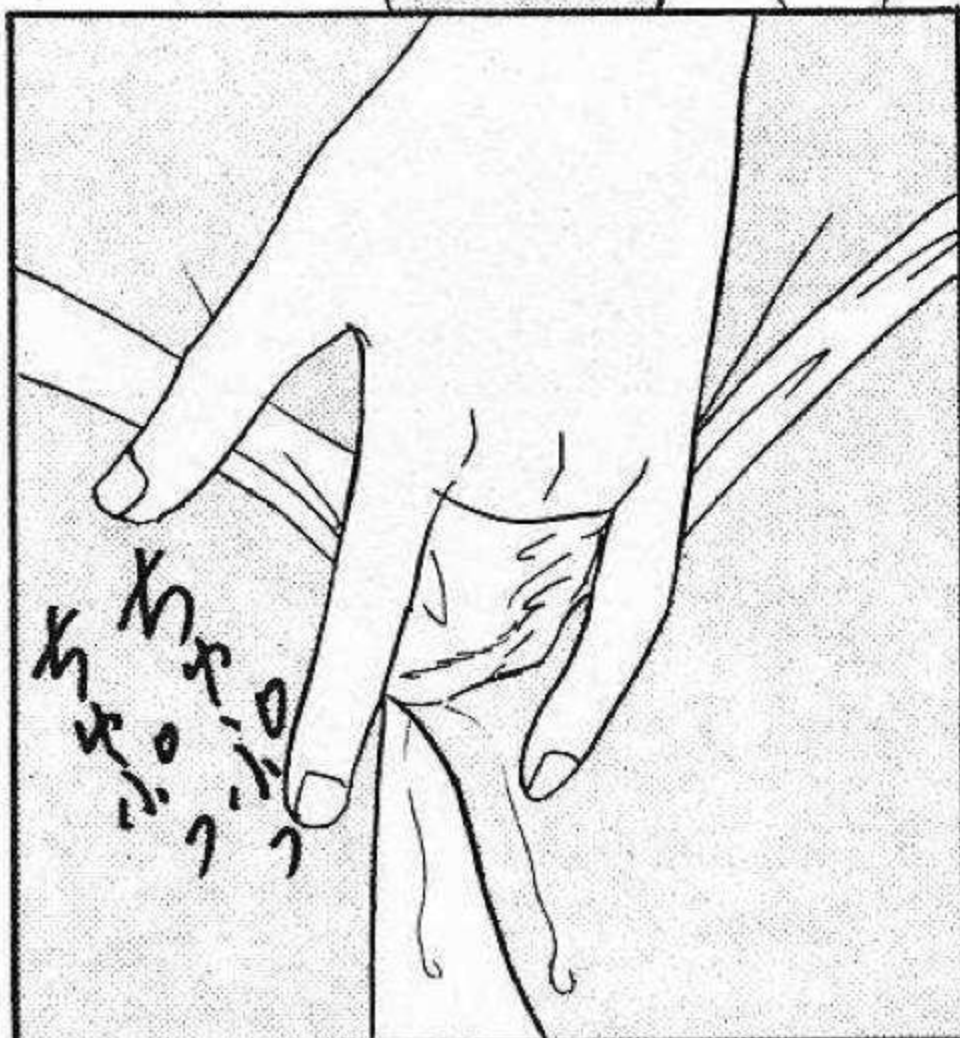


美星
やめなさい





だってえ練習して
おかないといけないって
店長さんが



そうそう
お客さんはオサワリ
自由だからね

あ

くわっ



あん



あっ、なにを
するんですかあ

ズブルッ



ズブルッ



ズブルッ



清音さん
美屋さん

STAFF ONLY

ガイヤッ

美白生



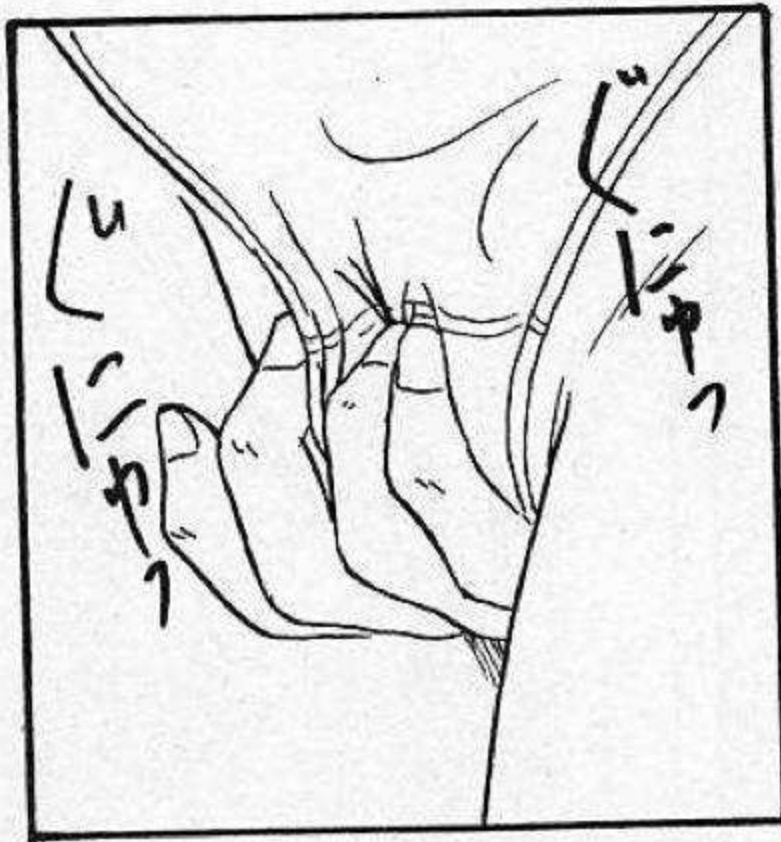
よかった
間に合った



助けに来て
くれたんで
すね

天地六人





……
言……

あ……

あ……

あ……



あ……
だめ……

天地さん



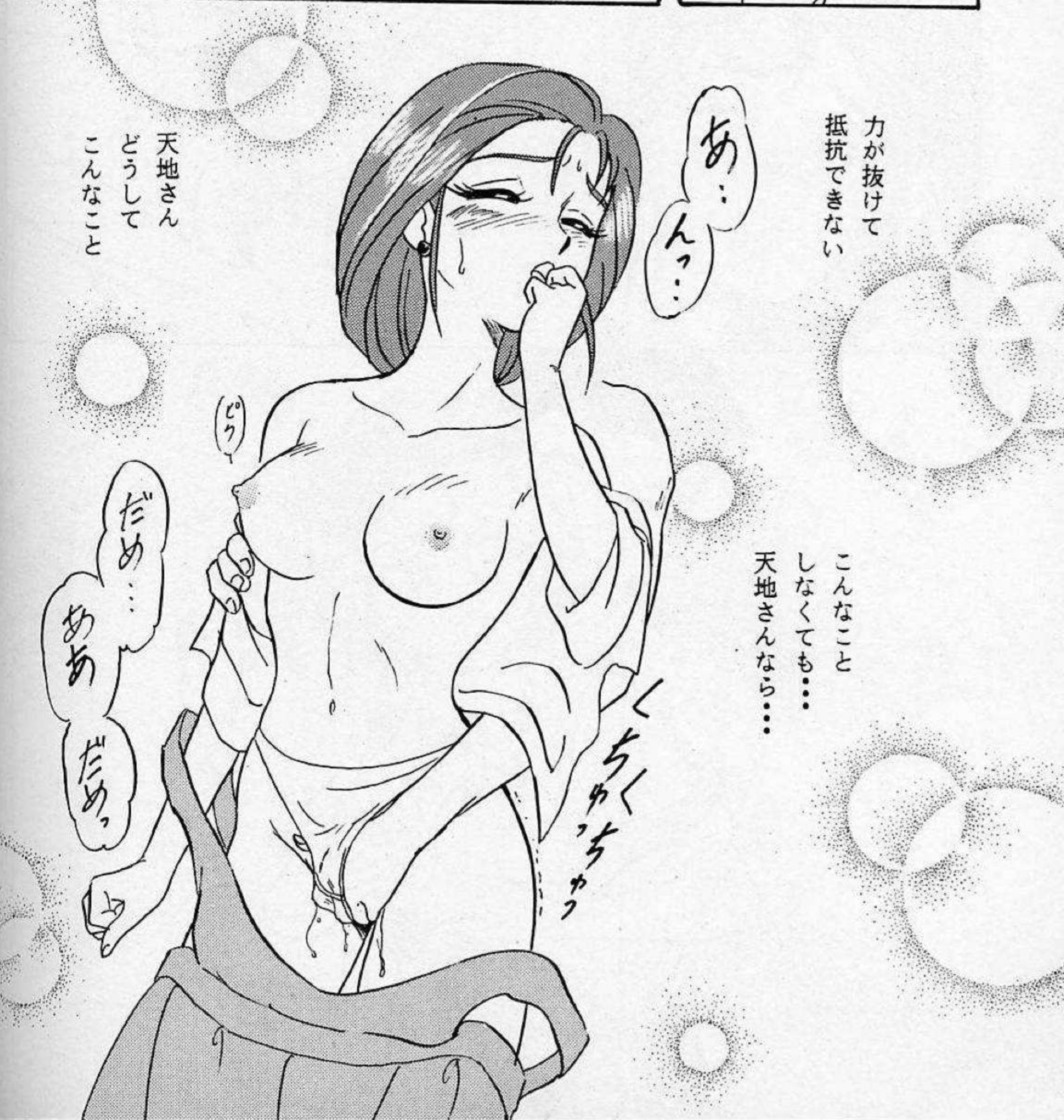
天地さん
どうして
こんなこと

力が抜けて
抵抗できない

あ：
ん？

こんなこと
しなくても……
天地さんなら……

だめ……
ああ
だめ



はっ

いやだ
私...



なんて事
考えて...



ん?



あ
ん
にゅるん
にゅるん

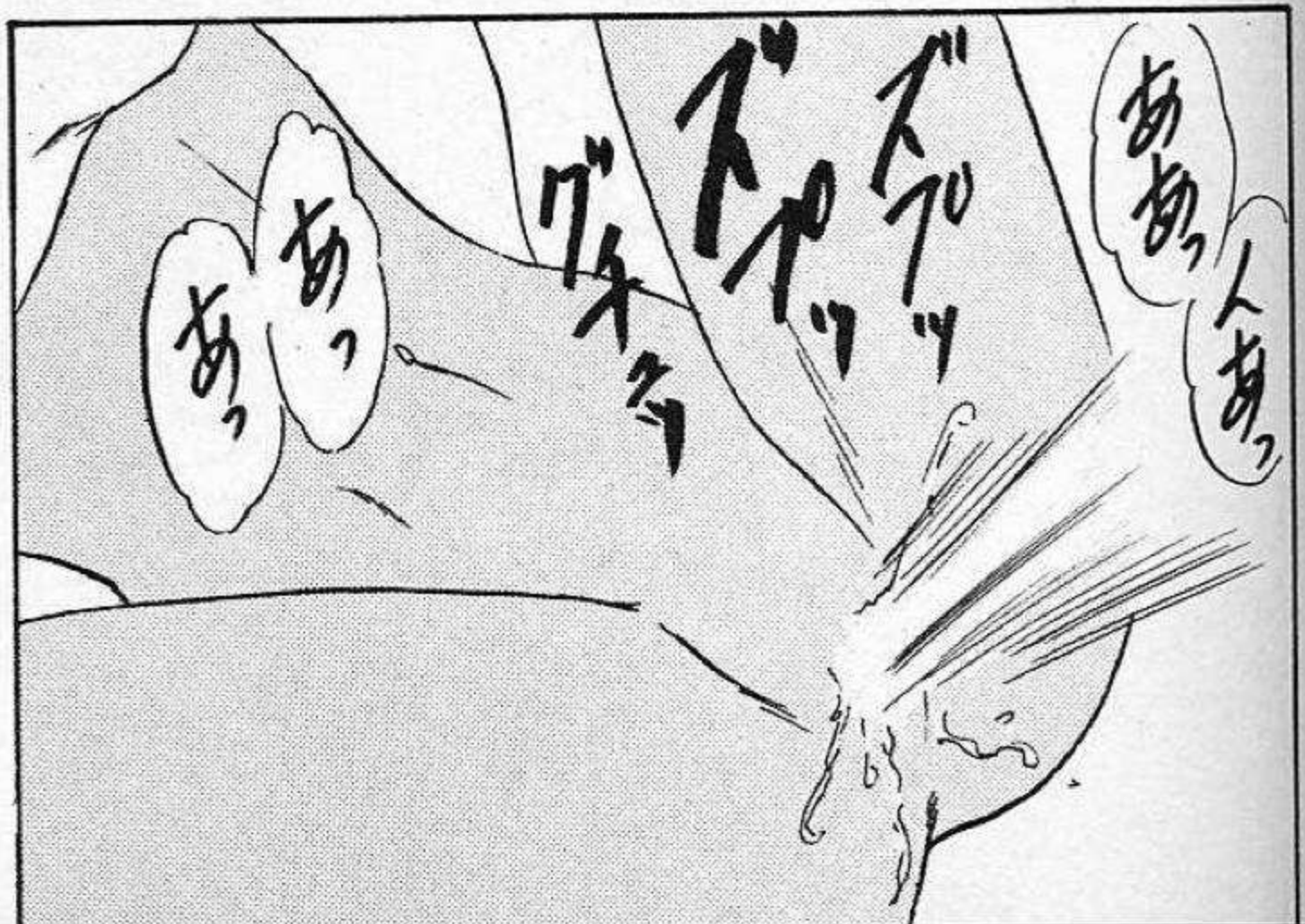
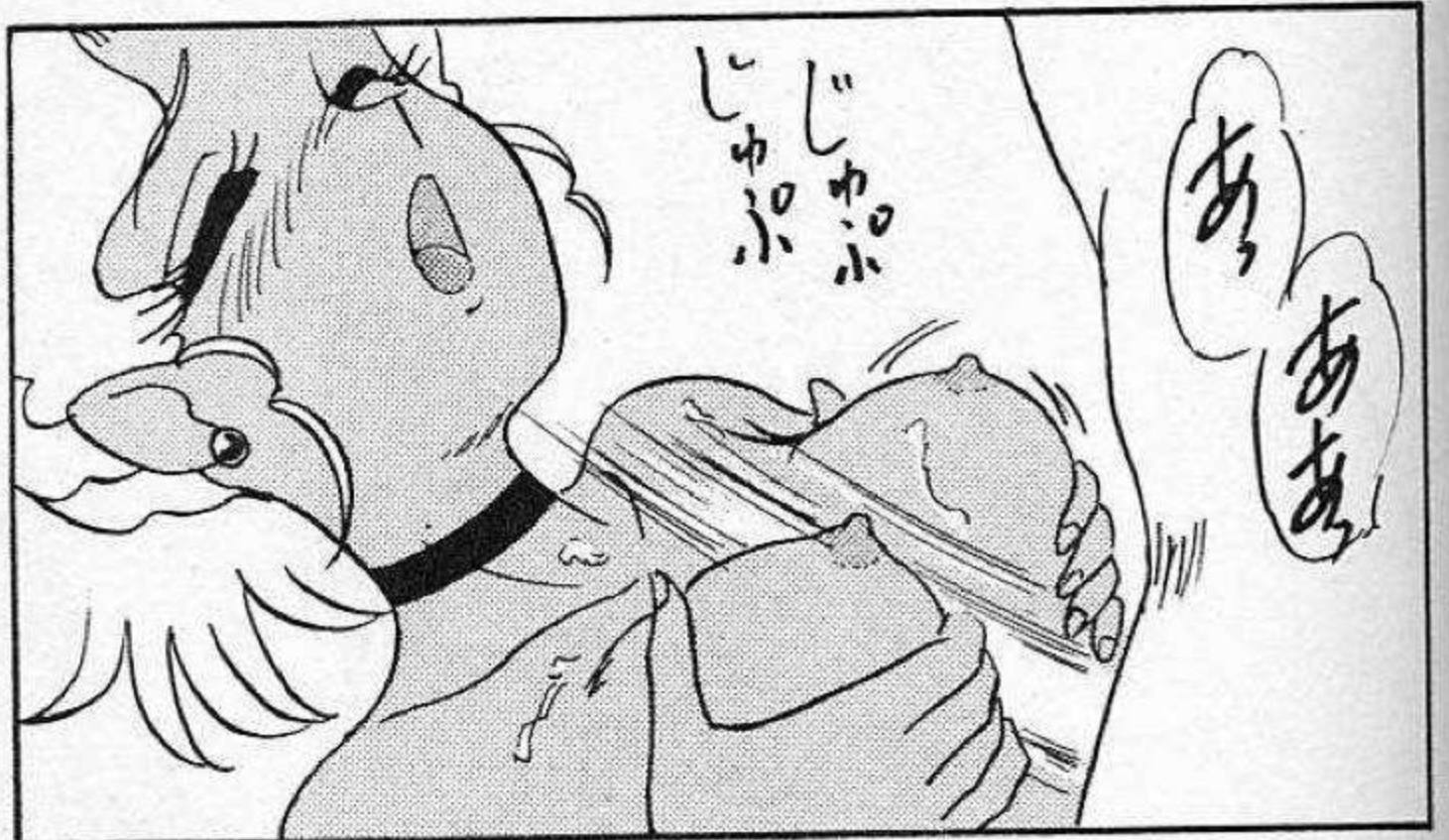
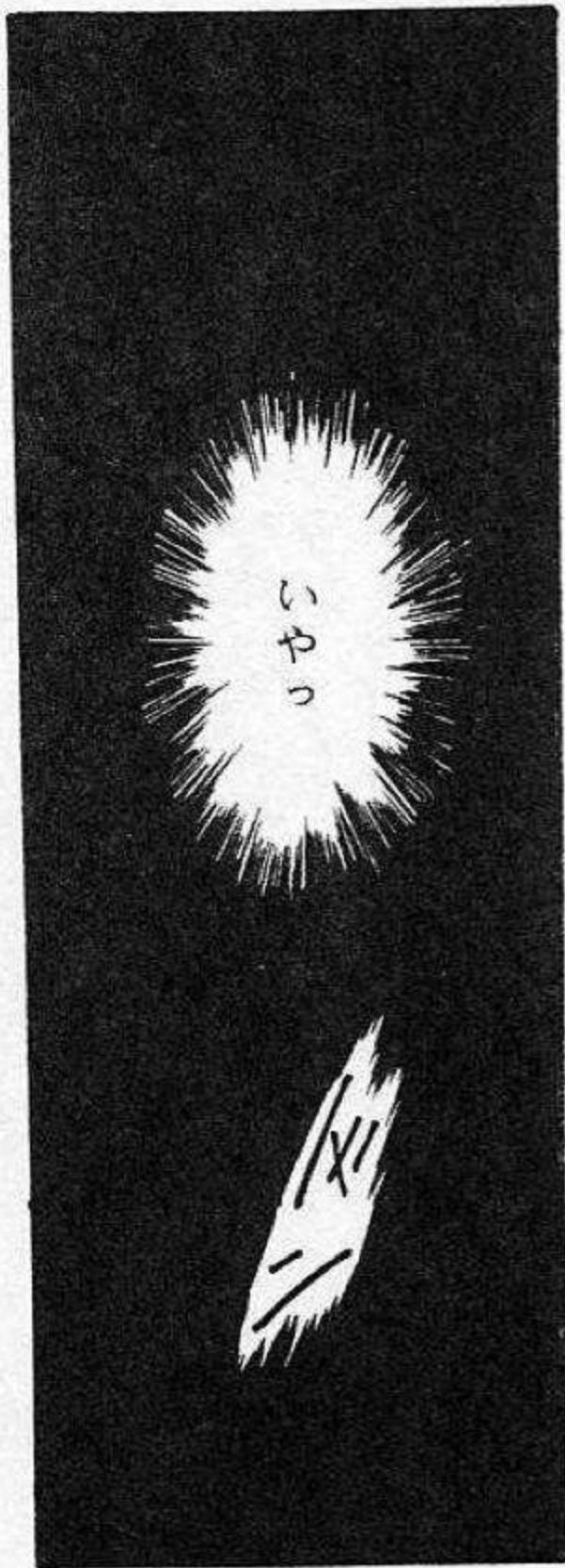
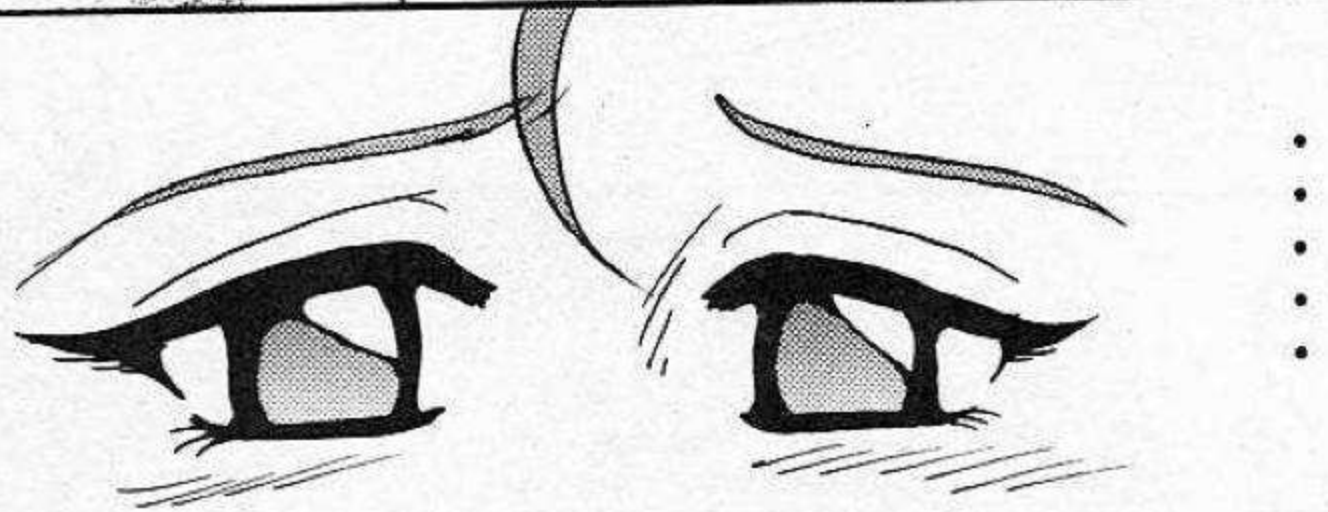
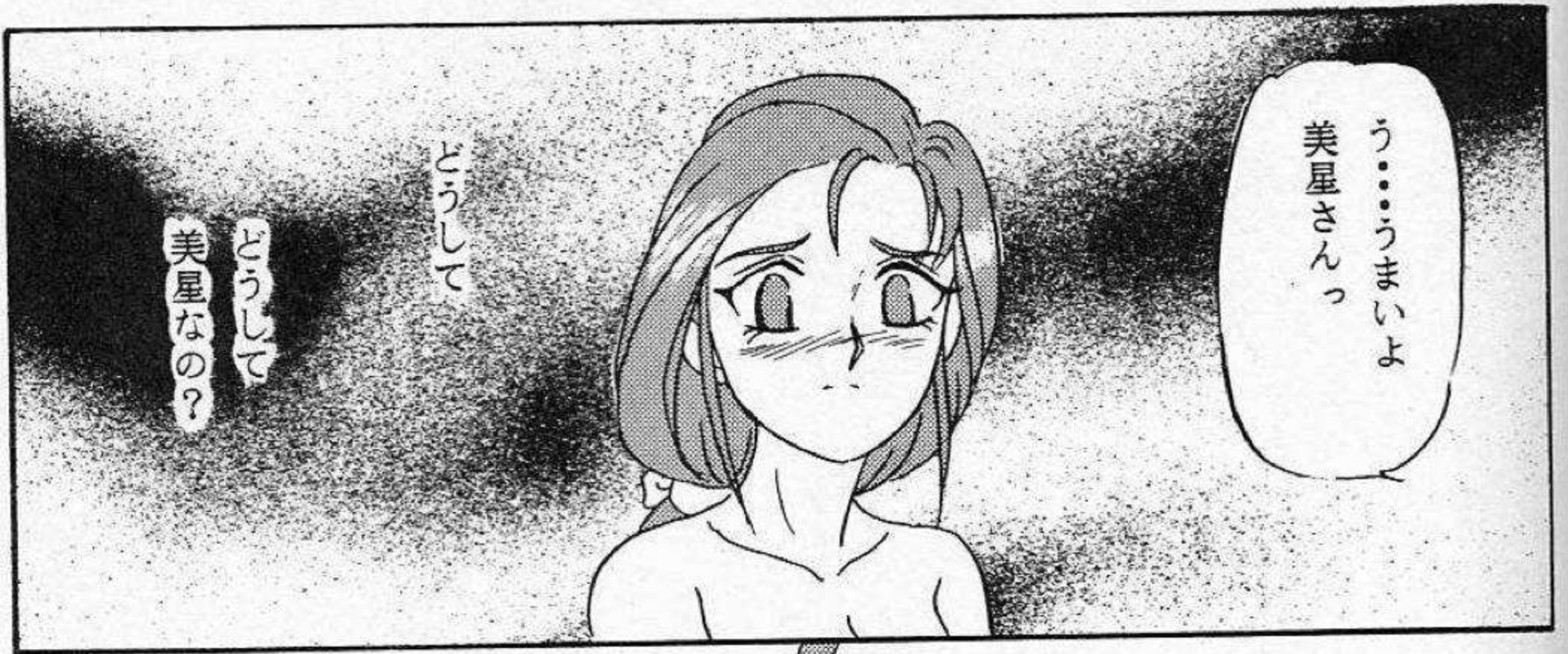


あっいいいな!
店長さん
オレにも
それ廻してよ

ああいいよ
オレはフツーに
犯るから

えっ?









ほらポーっと
してないで
続けて続けて

あ、
ズ
ツ

あ、あ、

どうやら
清音くんの
女の部分に
火をつけちゃった
みたいだね

もう
キミの
自由になるぞ



クワッ
クワッ

ん、

ん、
ん、

ん、
ん、



そ……
そうスカ

ぶる、
ぶる、



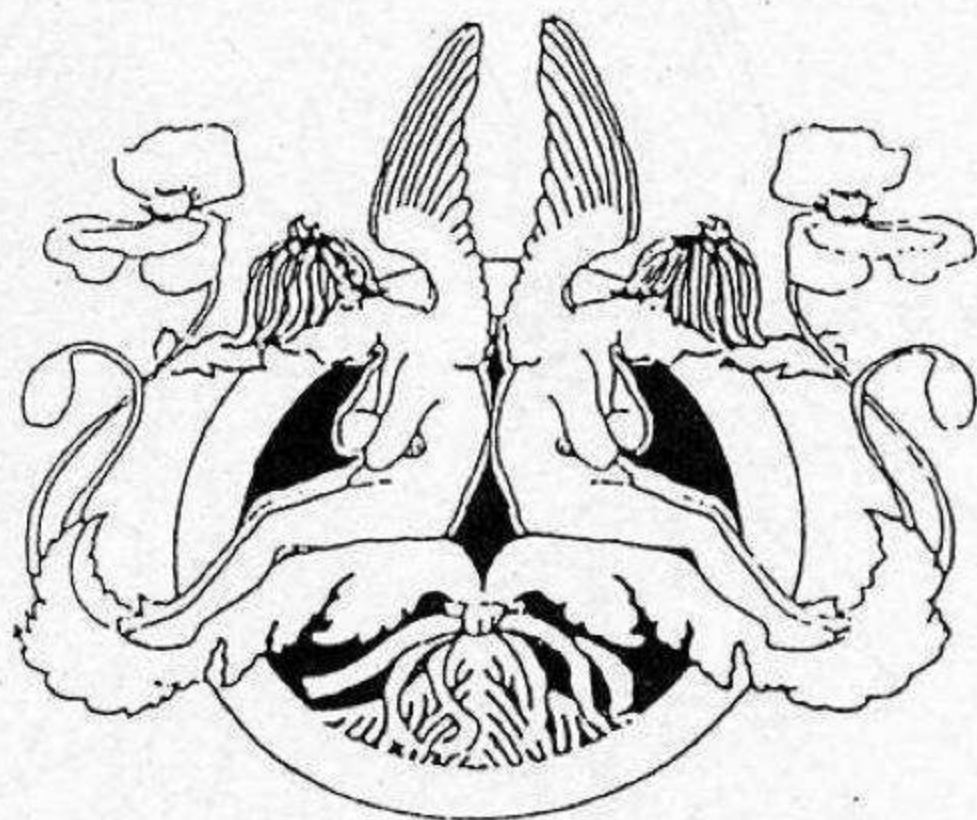






立て替えた分
たっぷり楽しませて
もじりよ

fin



『らんちたいむ・3』

イベントは「ちゃんだら」または「ランチBOX」で参加しています。

発行日 1995年8月18日

☎203

東京都東久留米市南沢

4-8-50-103

佐藤 方「LUNCH」

印刷 プリンプリント

禁、無断転載、無賊版制作

らんち
たいはる

天地無用
&
ガンダム

LUNCH BOX
&
ちゃんどら
PRESENTS

